作成·更新日 2024年12月9日

事業名	栃木県社	土会教育委	長員協議会参画事業	実施計画事業or一般事業	— <u>f</u>	投事業 市長公約		該当なし	総合戦略	該当なし	
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし	
1. 基本情	l. 基本情報										
担当組織	部	教育部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度	繰り返し	
	課	生涯学習課		栃木県社会教育委員協議会	予算	款	10	新規or継続	継続	事業	
	係	社会教育係		参画事業	科目	項	4	市単独or国県補助	市単独	事業	
	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意的	的事業	
政策体系	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり		事業	開始年度	S39	実施方法	直営		
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり	社会教育法第5条	期間	終了年度		事業分類	参画	事業	
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進			•	•	•	•	<u> </u>	

(3)目標値

#### 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1)事業概要

栃木県社会教育委員協議会に負担金を支出し、協議会に参加することにより、社会教育に関する情報収集や意見交換を行う。

(2)目的

目的

よって成し 遂げたい

状態)

活動実 (R5年) 行った主 動内容

事業概要

(本事業に

栃木県社会教育委員協議会に参画し、社会教育について他市町 社会教育委員との連携・参画支援により当市の社会教育委員の資 質向上を図る。

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
社会教育委員数	人	18	18	18	18	18
社会教育委員研修出席率	%	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0

#### 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

		活動指標	単位	R3	R4	R5
		理事会等出席者数	人	2	2	2
/- <del>-</del>	(市の活動) 栃木県社会教育委員協議会に負担金を支出、年2	社会教育委員研修出席者数	人	3	4	8
実績 F度に	回の理事会、年1回の評議員会、年1回の研修会の参加を行う。					
Eな活 容)	(協議会の活動) 年2回の理事会、年1回の評議員会の開催、社会教育に関する調査・研究と市町間の連携、研修事業の開催、関	事業費計	千円	10	10	10
	係機関の行う事業への協力。	一般財源	千円	10	10	10
		特定財源(国·県·他)	千円			
		(うち受益者負担)	千円			

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び 定性)

社会教育について他市町社会教育委員と連携・参画支援により、 当市の社会教育委員の資質向上が見られた。

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
社会教育委員数	人	18	18	18	値が大きいほど良い	効果は変わらない
社会教育委員研修出席率	%	16.7	22.2	38.8	値が大きいほど良い	効果が上がった

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用の増減無し
が田	効果が上がった指標数	1指標
	効果は変わらない指標数	1指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標值増減)	指標全体	効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し	0		
用	費用が増加した			

#### 4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和5年度は甲信越静社会教育大会が栃木で開催されたため、多くの学びがあった。次年度以降も同様の学びが見られるよう研修や大会への積極的な参加を促していく。

	事業の在り方検討	(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)
✓	事業効果を上げるた	めの事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

社会教育委員に対し、研修や大会への積極的な参加を呼びかけ、社会教育委員としての資質 のさらなる向上をめざす。

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

事業名	社会教育	指導員認		実施計画事業or一般事業	— <b>ў</b>	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当あり
L. 基本情		松立切		マ笠中市サク		<b>∧=</b> 1	க்க	古光斗王	光左座	KRIVE!
⊒当組織	部課	教育部 生涯学習課		予算中事業名	予算	会計		事業計画 新規or継続		
2 == 亦且亦成		社会教育係		社会教育指導員設置事業		項	4	市単独or国県補助		
	体系コード		名称	根拠法令、条例等	1711	目	1	義務or任意		
	基本目標	421 4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり	120012 15 ( >10) 3 (3	事業	開始年度	昭和53			
<b>改策体系</b>	政策		地域とともに学び育てるまちづくり			終了年度		事業分類	その他内部	
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進							
2. 事業概 (1)事業 事業概要	美概要		画期間内)目標値 談、社会教育団体の指導助言及び公民館	宮の各種ボランティア養成、サーク	ル指導・	講座等の充	実·活性化	上を図るため	、社会教育	「指導員を
(2)目的	5			(3)目標値	1					
目的				効果指標	単位	R3	R4	R5		
(本事業に				社会教育指導員の公民館における講座運営数主として関連した団体の事業執行率	回 %	100 100	100 100			
、 よって成し	市民·社会	教育団体の教	<b>教育力を向上させる。</b>	土として民産した団体の争業が1年	70	100	100	100	100	100
遂げたい										
状態)										
<b>3. 前年度</b> (1)活動		5動及び費用	対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	事業費の推	ŧ移			
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
				社会教育指導員の公民館における講座運営数		100	130	75		
						100				
s動実績 生涯学習課社会教育係に1名、各公民館に4名(中央公民		関連した社会教育団体数	団体	4	2	2				
R5年度に 第5た主な活	館、犬伏地	区公民館、坂	成北地区公民館、田沼中央公民館)、計							
	5名を配置し	」、年間を通し	して、各種事業の企画運営や、社会教育	事業費計	千円	10,877	10,816	11,655		
	関係団体の	育成を図った	-0	—————————————————————————————————————	千円	10,877	10,816	11,655		
						10/0//	10/010	11,000		
				特定財源(国・県・他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円					
(3)活重	かによる効果			(4)事業効果を説明する数	7値データ	の推移			し選択して	下さい
(3) /山並	) (CO: 0/9)/(			効果指標	単位	R3	R4	R5	*	
	2 / D	·*·· - = = = = = = = = = = = = = = = = = =		社会教育指導員の公民館における講座運営数		100		75	値が大きいほど良い	効果が下がった
効果説明			の企画運営を行った。	主として関連した団体の事業執行率	%	100.0	100.0	100.0	値が大きいほど良い	効果は変わらない
(定量及び 定性)	佐野中小中		校PTA連絡協議会の事業執行に対し、						以下では、 (スマートシティ ) 該当あり 単年度繰り返し 継続事業 市単独事業 任意的事業 直営 その他内部事務事業 社会教育指導員を R6 R7 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100	
X-11-)	又扱でリング	Co								
(5)費用	月対効果結果	艮 (自動判定	≣)							
費用(R5	とR4の一般!		費用が増加した	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上が		0指標				効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
(R5とR4の	効果は変わら 効果が下が	ない指標数 った指標数	1指標 1指標	-	費	費用は下がった				
旨標値増減)	77321073 1 73	指標全体	-75 (2)	j	用	費用が増加した			0	
(1) 令和		写業実施におり	ける反省点、環境変化や関係者からの意見 運営。及び関連する社会教育団体の事業		対果向	上のための	課題			
(2) 上記	尼反省点及び	/課題を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組	T-40-V8-	1					
_	古サッナバ	<b></b>	(t.) T(= 1 = 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2	取組説明						
	事業効果を 事業費の見	上げるための !直し検討	:、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討 D事務改善の検討							

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

事業名	社会教育	9担当職員	<b>强研修派遣事業</b>	実施計画事業or一般事業	— <u>t</u>	 般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
<i>-</i>		J J 1747 J		施策横断的な取組との関連性			コンパクトシティ		スマートシティ	該当なし
1. 基本情	<b></b>			MONTH OF MILE SPACE IT	02 00	121		20.0	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	<u> </u>
	部	教育部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度	繰り返し
旦当組織	課	生涯学習課		社会教育担当職員研修派遣事	予算	款	10	新規or継続	継続	事業
	係	社会教育係		業	科目	項	4	市単独or国県補助	市単独	事業
	体系コード	421	<u>名称</u>	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意的	9事業
政策体系	基本目標		豊かな心を育み、学び合うまちづくり	社会教育法(第5条)、教育公		開始年度	S50	実施方法		
	政策		地域とともに学び育てるまちづくり	務員特例法	期間	終了年度	-	事業分類	その他内部	]事務事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進							
<b>2. 事業</b> 概 (1)事第		なで(基本計画	画期間内)目標値							
事業概要	国・県等の名	各種会議に職	員を派遣するとともに、社会教育専門職員	としての資質向上のため研修機:	会を確保	戻し、社会教	対育の推進を	を図る。		
(2)目的	ti			(3)目標値						
(2) 🗗	צי				畄位	D3	<b>P</b> 4	R5	R6	R7
目的								100		100
(本事業に	社会教育σ	)推進、地域に	こおける社会教育活動の充実を目指し、職	効果指標 単位 R3 R4 F   研修を活かした事業の割合 % 100 100   1					100	100
よって成し		の向上を図る								
遂げたい 状態)	20,3 720,5		•							
1八紀)										
<b>3.前年</b> 原 (1)活動		<b>舌動及び費用</b>	対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	事業費の抽	<b>達移</b>		1	
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
				研修会派遣回数(延べ)		9	10	10		
	県等が主催	する会議、担	当者会議に出席	MISAMELY (E 1)			10	10		
活動実績 · 社会教育関係職員研修										
ロシストリング (R5年度に		ふれあい学習								
テった主な活・	·安足地区	生涯学習推進	<b>圭連絡会議</b>	事業費計	千円	0	0	0		
動内容)	·家庭教育	・子育て支援	担当者会議	2 11.2 321			_	-	Ī	
	・地域コーテ	「ィネーター養反	以研修	一般財源	十円	0	0	0		
				特定財源(国·県·他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円					
<i>(-)</i>				( , ) = W(1) = ( = V = 1 , = W(1)	(-t)\ .		ļ			
(3) 活動	かによる効果			(4) 事業効果を説明する数			5.4	5.5	↓選択して	
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	
効果説明	タノのエロルタメ	こ分切っさたっ	とで職員の資質向上に繋がり、事業に研	研修を活かした事業の割合	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない
(定量及び		こ多加でさた。 ことができた。	.CC嘅貝の貝貝向上に系がり、手来に切							
定性)	11多で11月19日	CCM. CGIC.								
( - \ +h =		- (-(		l.			l		<u> </u>	
		<b>果(自動判定</b>		a Territoria de la				***		İ
	とR4の一般  効果が上が		費用の増減無し 0指標	※10万円以上の増減により判断			効果が上がった	効果 効果は変わらない	効果が下がった	
効果		おい指標数	1指標		費	費用は下がった	刈未が上がりに	刈未は多りりない	刈来が下がつに	
(R5とR4の 指標値増減)	効果が下が		0指標		用	費用の増減無し		0		
January Linky		指標全体	効果は変わらない	J		費用が増加した				l
	をに向けた検 15年度の事		ける反省点、環境変化や関係者からの意見	等を踏まえた検討課題、費用対	効果向	上のための	課題			
			ため、それに対応出来る社会教育担当者が 間を確保し、より多くの研修会に参加できる							
(2) 上語	己反省点及び	グ課題を踏まえ	た、令和6年度及び令和7年度の取組	取組説明	]					
	事業の在り	方検討(廢⊩	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)	4X111111111111111111111111111111111111	<u> </u>					
	事業効果を 事業費の見	上げるための し直し検討	事務改善の検討							
	業務時間效	刃挙化のための	)事務改善の検討	1						

名称 おいを育み、学び合うまちづくりとともに学び育てるまちづくりを豊かにする生涯学習の推進 場内)目標値 場内にある擬木柵が老朽化しています。	実施計画事業or一般事業 施策横断的な取組との関連性  予算中事業名 作原野外活動施設指定管理 事業 根拠法令、条例等  社会教育法第5条  ることから、撤去及び新設工事を行き (3)目標値 効果指標 不都合な〈安全利用できた利用者の割合	SDGs 予算 科目 事業 期間	受事業 該当あり 会計 款 項 目 開始年度 終了年度	ー般 10 4 1 R5	該当なし 事業計画 新規のr継続 <sup>市単独の団県補助</sup> 義務or任意 実施方法	#年月 新規: 市単独 任意的	該当なし 度のみ 事業 虫事業 り事業 営
は心を育み、学び合うまちづくり とともに学び育てるまちづくり を豊かにする生涯学習の推進 <b>場内)目標値</b> 場内にある擬木柵が老朽化してい	作原野外活動施設指定管理 事業 根拠法令、条例等 社会教育法第5条 ることから、撤去及び新設工事を行う (3)目標値 効果指標	事業期間	款 項 目 開始年度	10 4 1 R5	新規or継続  市単独or国県補助  義務or任意  実施方法	新規 市単独 任意的 直	事業 中事業 り事業 営
は心を育み、学び合うまちづくり とともに学び育てるまちづくり を豊かにする生涯学習の推進 <b>場内)目標値</b> 場内にある擬木柵が老朽化してい	作原野外活動施設指定管理 事業 根拠法令、条例等 社会教育法第5条 ることから、撤去及び新設工事を行う (3)目標値 効果指標	事業期間	款 項 目 開始年度	10 4 1 R5	新規or継続  市単独or国県補助  義務or任意  実施方法	新規 市単独 任意的 直	事業 生事業 り事業 営
は心を育み、学び合うまちづくり とともに学び育てるまちづくり を豊かにする生涯学習の推進 <b>場内)目標値</b> 場内にある擬木柵が老朽化してい	事業 根拠法令、条例等 社会教育法第5条 社会教育法第5条 ることから、撤去及び新設工事を行う (3)目標値 効果指標	事業期間	項 目 開始年度	4 1 R5	<sup>市単独の国県補助</sup> 義務のr任意 実施方法	市単独任意的	中華 中華 中華 学
は心を育み、学び合うまちづくり とともに学び育てるまちづくり を豊かにする生涯学習の推進 <b>場内)目標値</b> 場内にある擬木柵が老朽化してい	根拠法令、条例等 社会教育法第5条  ることから、撤去及び新設工事を行う (3)目標値 効果指標	事業期間	目 開始年度	1 R5	<sub>義務or任意</sub> 実施方法	ボレ スマートシティ 該当な 計画 単年度のみ 継続 新規事業 市単独事業 任意的事業 方法 直営 分類 施設等整備事業 5 R6 R7 100 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	的事業 営
は心を育み、学び合うまちづくり とともに学び育てるまちづくり を豊かにする生涯学習の推進 <b>場内)目標値</b> 場内にある擬木柵が老朽化してい	社会教育法第5条 ることから、撤去及び新設工事を行う (3)目標値 効果指標	期間	開始年度	R5	実施方法	直'	営
とともに学び育てるまちづくり を豊かにする生涯学習の推進 <b>場内)目標値</b> 場内にある擬木柵が老朽化してい	ることから、撤去及び新設工事を行き (3)目標値 効果指標	期間					
を豊かにする生涯学習の推進 <b>引内)目標値</b> 易内にある擬木柵が老朽化してい	ることから、撤去及び新設工事を行き (3)目標値 効果指標	ō.	終了年度	R5	事業分類	施設等	各偏事業 
<b>引内)目標値</b> 易内にある擬木柵が老朽化してい	(3)目標値 効果指標						
用してもらう。	効果指標	単位					
用してもらう。	効果指標	単位					
用してもらう。			R3	R4	R5	R6	R7
用してもらう。	T III II I	%	IN3	IXT		_	107
<b></b>		,,,			100		
					<ul> <li>設事業計画 単年度のみ 新規の継続 新規事業 中単独事業 1 義務の任意 任意的事業 25 実施方法 直営 25 事業分類 施設等整備事業</li> <li>R5 R6 R7 100</li> <li>R5 100</li> <li>R6 100</li> <li>R7 100</li> <li>A2 100</li> <li>A2 100</li> <li>A3 100</li> <li>A3 100</li> <li>A4 200</li> <li>A5 100</li> <li>A5 100</li> <li>A6 100</li> <li>A7 100</li> <li>A</li></ul>		
果)説明					DE	l	
			K3	K4	KS	ŀ	
	改修施設数	施設			1		
カ実績 年度に							
行った。	-t- NV -th 1		_	_			
	事業質計	千円	0	0	10,736		
	一般財源	千円			10,736		
	特定財源(国• 県• 他)	壬円					
	(フク文金石貝担)	十円					
	(4)事業効果を説明する数	値データ	の推移			↓選択して	下さい
	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
	不都合なく安全利用できた利用者の割合	%			100	値が大きいほど良い	効果が上がった
ることができた。							
	<u></u>						-
	※10万円以上の増減により判断						
1指標 		曲	費田け下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
0指標			費用の増減無し				
効果が上がった		用	費用が増加した	0			J
	で行った。 できた。 費用が増加した 1指標 0指標 0指標 <b>効果が上がった</b> 省点、環境変化や関係者からの意	(2)活動を説明する数値デ 活動指標 改修施設数  事業費計	(2)活動を説明する数値データ及び 活動指標 単位 改修施設数 施設 FP 一般財源 千円 一般財源 千円 特定財源 (国・県・他) 千円 (うち受益者負担) 千円 (4)事業効果を説明する数値データ 効果指標 単位 不都合なな全利用できた利用者の割合 % でることができた。 第一項 1指標 0指標 0指標 0指標 0指標 カ果が上がった 第一項 第一項 1 日本 1 日	(2)活動を説明する数値データ及び事業費の指売 単位 R3 改修施設数 施設	(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移	(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移	(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

仕事	上事の振り返りシート(令和 5 年度実施分) (情感・更新日 2024年8月9日										
事業名	作原野夕	卜活動施設	指定管理事業	実施計画事業or一般事業	— <u>f</u>	股事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし	
1.基本情	. 基本情報										
	部	教育部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度網	繰り返し	
□当組織	課	生涯学習課		作原野外活動施設指定管理	予算	款	10	新規or継続	継続事業		
	係	社会教育係		事業	科目項		4	市単独or国県補助	市単独事業		
	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意的	事業	
内策体系	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり	社会教育法第5条、佐野市	事業	開始年度	S62	実施方法	指定管	理者	
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり	→ 作原野外活動施設条例 —	期間	終了年度	-	事業分類	施設維持	管理事業	
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進								
2. 事業概要と目的及び (基本計画期間内) 目標値 (1) 事業概要											
事業概要	フポーツやレカリエーションを通して、市民の健康及び体力の向上並びに書小年の健全登成を図るため、作頂野外活動施設を市民に提供する										
(2)目的	2)目的 (3)目標値										

		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的		不都合なく安全利用できた利用者の割合	%	100	100	100	100	100
(本事業に	作原野外活動施設を管理し、利用者に不都合なく安全に利用して							
よって成し	もらう。							
遂げたい 状態)								
D (New)								

### 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動実績 (R 5 年度に 行った主な活動内容)		活動指標		R3	R4	R5
	開設期間:4月15日~11月15日	提供施設数	施設	7	7	7
	提供施設:センターハウス、調理研修棟、宿泊研修棟、体育館、キャンプ場、テニスコート、芝生広場	利用者数	人	962	1,398	1,715
		事業費計	千円	5,102	5,275	6,527
		一般財源	千円	5,102	5,275	6,527
		特定財源(国·県·他)	千円			
		(うち受益者負担)	千円			

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

		効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
+1 cm=4 nn		不都合なく安全利用できた利用者の割合	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない
効果説明	効果説明 (定量及び 利用者に不都合なく安全に利用してもらうことができた。 定性)							
-								
ÆIL)								

(5)費用対効果結果(自動判定)

,	( ) / ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (									
費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用が増加した								
か田	効果が上がった指標数	0指標								
	効果は変わらない指標数	1指標								
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標								
指標值増減)	指標全体	効果は変わらない								

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し			
用	費用が増加した		0	

#### 4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

指定管理者により適切に維持管理を実施しているが、施設の老朽化により日常的な維持管理では対応できない修繕箇所が見受けられた。

	(2)	上記反省点及び課題を踏まえた、	令和6年度及び令和7	'年度の取組
--	-----	-----------------	------------	--------

	事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)
V	事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

指定管理者との連携を密にし、統一的な見解で業務に取り組む。

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

事業名	佐野市ボ・	ーイスカウト・	・ガールスカウト連絡協議会支援事業	実施計画事業or一般事業		 般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
	111111111111111111111111111111111111111	177071	。 17/107   左州城城五人以于木	施策横断的な取組との関連性			コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情	<b>青</b> 報									
	部	教育部		予算中事業名		会計		事業計画	単年度	
旦当組織	課	生涯学習課		佐野市ボーイスカウト・ガールスカ		款		新規or継続		事業
	係	社会教育係		ウト連絡協議会支援事業	科目	項	4			虫事業
	体系コード	421		根拠法令、条例等	vii/	目		義務or任意		り事業
政策体系	基本目標	4	±00001300000000000000000000000000000000	社会教育法(第11条)	事業	開始年度		実施方法		営
	政策 施策		地域とともに学び育てるまちづくり 生活を豊かにする生涯学習の推進	佐野市社会教育関係団体補助金交付要領	期間	終了年度		事業分類	文拨	事業
	池水	1	工力で豆がにする工作子目の推進	<u> </u>	]					
<b>2. 事業</b> 概 (1)事第		とび(基本計	画期間内)目標値							
事業概要	ルスカウト連	絡協議会はな	ールスカウト連絡協議会に補助金を交付して ボーイスカウト日本連盟、ガールスカウト日本 こ設立した団体。							
(2)目的	5			(3)目標値						
(=, =:				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				補助金執行率	%	100	100		100	100
(本事業に	佐野市ボー	イスカウト・ガ-	-ルスカウト連絡協議会の円滑な運営と財							
よって成し 遂げたい	政の健全化	どを図り、学習	で培った知識・技術を社会へ還元できる。							
状態)										
<b>3.前年度</b> (1)活動		舌動及び費用	対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	事業費の推	趙移			
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
				補助団体数	団体	1	1	1		
活動実績	/ <b>ナ</b> ッアモリ	/- mz 1°	/	אצידון בו נענווו	IZITT.	_				
	` ,		'スカウト・ガールスカウト連絡協議会に補助 **・ロー・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン							
			き(申請書の受理、交付決定、実績報告、							
テった主な活	補助金交付	,	「ールスカウト連絡協議会)佐野市事業に協	事業費計	千円	70	70	70		
動内容)	力、組織の拡充と育成、指導者の育成			—————————————————————————————————————	千円	70	70	70		
						/-	70	70		
				特定財源(国・県・他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円					
(3)活重	かによる効果			(4) 事業効果を説明する数	値データ	の推移			↓選択して	下さい
, , , , , , , ,				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
+1				補助金執行率	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない
効果説明			ールスカウト連絡協議会に補助金を支出す							
(定量及び 定性)	ることにより、	活動の充実の	と青少幼年の健全育成を図ることができた。							
,										
		果(自動判定		1						1
費用(R5	とR4の一般		費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上が効果は変わり	つに指標数		-	費	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
(R5とR4の 指標値増減)	効果が下が	った指標数	0指標		用用	費用の増減無し		0		
话宗但'相'成)		指標全体	効果は変わらない	J	/13	費用が増加した				
	<b>ぎに向けた検</b> 35年度の事		ける反省点、環境変化や関係者からの意見	等を踏まえた検討課題、費用対	対果向	上のための	課題			
			然体験や集団宿泊体験等の様々なプログラ							
(2) ⊦≣	アロカ でんしょう アンフェング アンフェン・フェン・フェン・フェン・フェン・フェン・フェン・フェン・フェン・フェン	「三里!!! おっぱます! 「三里!!!! おっぱます!	えた、令和6年度及び令和7年度の取組							
(4) 上司	以人口示义(	<b>、 PV MY CTE 4</b> /		取組説明						
	事業の在り	方検討(廃止	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)	-1/4/17/10-17	<u> </u>					
_			事務改善の検討							
	事業費の見	直し検討								
	<b>坐</b> 黎時間が	カダルのための	n事務改善の検討	1						

尹木口	凶善貼記	设備改修事	<b>詳</b>	実施計画事業or一般事業	— <sub>:</sub>	般事業			総合戦略	
	l .			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
L. 基本情						T		I		
□ \ / &□ &#\</td><td></td><td>教育部</td><td></td><td>予算中事業名</td><td colspan=2>会計</td><td></td><td>事業計画</td><td></td><td colspan=2>生年度のみ 所規事業</td></tr><tr><td>旦当組織</td><td>課 係</td><td>生涯学習課 社会教育係</td><td></td><td>図書館設備改修事業</td><td></td><td>款 項</td><td>10</td><td>新規or継続 市単独or国県補助</td><td></td><td>建多条 独事業</td></tr><tr><td></td><td>体系コード</td><td>421</td><td>名称</td><td>根拠法令、条例等</td><td>771</td><td>目</td><td></td><td>義務or任意</td><td></td><td><del>四字来</del> 的事業</td></tr><tr><td></td><td>基本目標</td><td></td><td>豊かな心を育み、学び合うまちづくり</td><td>12302 150 510,503</td><td>事業</td><td>開始年度</td><td></td><td>実施方法</td><td></td><td>· 営</td></tr><tr><td>政策体系</td><td>政策</td><td></td><td>地域とともに学び育てるまちづくり</td><td> 社会教育法</td><td></td><td>終了年度</td><td></td><td>事業分類</td><td></td><td> 整備事業</td></tr><tr><td></td><td>施策</td><td></td><td>生活を豊かにする生涯学習の推進</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th><b>2. 事業</b>概 (1)事第</th><th></th><th>なび(基本計</th><th>画期間内)目標値</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></tr><tr><td>事業概要</td><td>佐野市立図</td><td>図書館の老朽</td><td>化した空調設備の改修、子ども用トイレの</td><td>D洋式化工事を行う。</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>(2)目的</td><td>þ</td><td></td><td></td><td>(3)目標値</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>効果指標</td><td>単位</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>目的</td><td></td><td></td><td></td><td>不都合なく安全利用できた利用者の割合</td><td>%</td><td></td><td></td><td>100</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(本事業によって成し</td><td>   利用者に不</td><td>都合なく安全</td><td>€に利用してもらう。</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td><u>                                     </u></td></tr><tr><td>遂げたい</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td><del>                                     </del></td><td></td></tr><tr><td>状態)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td><u>                                     </u></td><td>1</td></tr><tr><td><b>3.前年</b>原 (1)活動</td><td></td><td><b>手動及び費用</b></td><td>対効果)説明</td><td>(2)活動を説明する数値デ</td><td>ータ及び</td><td>事業費の指 -</td><td>趣</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>活動指標</td><td>単位</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>改修施設数</td><td>施設</td><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan=3>R5年度に</td><td colspan=3></td><td>0/12/2000</td><td>2012</td><td></td><td></td><td>_</td><td></td><td></td></tr><tr><td>佐野市立図</td><td>図書館の設備</td><td>改修工事</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>显水機操作盤</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>テった主な活 動内容)</td><td></td><td colspan=2>・子ども用トイレの洋式化(男女各2台⇒各1台) 広ノ確保した個家におかつ替える。一人笑を設置</td><td>事業費計</td><td>千円</td><td>0</td><td>0</td><td>10,307</td><td></td><td></td></tr><tr><td>到(1)101)</td><td rowspan=3 colspan=3>広く確保した個室におむつ替えシート等を設置</td><td>一般財源</td><td>千円</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td> 特定財源(国・県・他)</td><td>千円</td><td></td><td></td><td>10,307</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>10,507</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>(うち受益者負担)</td><td>千円</td><td></td><td></td><td></td><td> </td><td></td></tr><tr><td>(3)活動</td><td>かによる効果</td><td></td><td></td><td>(4) 事業効果を説明する数</td><td>値データ</td><td>の推移</td><td></td><td></td><td>↓選択して</td><td>て下さい</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>効果指標</td><td>単位</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td></td><td>R4とR5の比較</td></tr><tr><td>効果説明</td><td></td><td></td><td></td><td>不都合なく安全利用できた利用者の割合</td><td>%</td><td></td><td></td><td>100</td><td>値が大きいほど良い</td><td>効果が上がった</td></tr><tr><td></td><td>利用者に安</td><td>全な環境を提</td><td>是供することができた。</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td><u>                                     </u></td><td></td></tr><tr><td>定性)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>/r\ #r</td><td>D 5+ 55 EP 6+ 5</td><td>日 /白科小叶</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>BN効素結束 とR4の一般</td><td>果(自動判定 財源機減)</td><td><u>:)</u></td><td>※10万円以上の増減により判断</td><td></td><td></td><td></td><td>効果</td><td></td><td>1</td></tr><tr><td></td><td>効果が上が</td><td></td><td>1指標</td><td>※10万万以上の追溯により刊例</td><td></td><td></td><td>効果が上がった</td><td></td><td>効果が下がった</td><td></td></tr><tr><td>効果 (R5とR4の</td><td>効果は変わら</td><td>おい指標数</td><td>0指標</td><td></td><td>費</td><td>費用は下がった</td><td></td><td></td><td></td><td>1</td></tr><tr><td>指標値増減)</td><td>効果が下が</td><td>つに指標<u>致</u> 指標全体</td><td><u>○ 0指標</u> <b>効果が上がった</b></td><td></td><td>用</td><td>費用の増減無し</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>(1) 令和</td><td><b>きに向けた検</b> 05年度の事 「事完了がで</td><td>三業実施におり 「</td><td>ける反省点、環境変化や関係者からの意</td><td>見等を踏まえた検討課題、費用対</td><td>対果向</td><td>]上のための</td><td>課題</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>(2)上語</td><td>2反省点及び</td><td><b>『課題を踏ま</b>》</td><td>えた、令和6年度及び令和7年度の取組</td><td>租 取組説明</td><td>]</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>事業効果を</td><td></td><td>、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討</td><td></td><td>ı</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>										

名称

4 豊かな心を育み、学び合うまちづくり

生活を豊かにする生涯学習の推進

2 地域とともに学び育てるまちづくり

作成·更新日 2024年8月9日

任意的事業

指定管理者

施設維持管理事業

3 義務or任意

事業分類

H25 実施方法

事業名 図書館等指定管理事業		実施計画事業or一般事業	一般事業		市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当あり
1. 基本情	<b>手</b> 報								
	部	教育部	予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度組	繰り返し
担当組織	課	生涯学習課	网聿统华北宁符理市类	予算	款	10	新規or継続	継続事業	
	係	社会教育係	図書館等指定管理事業	科目	項	4	市単独or国県補助	市単独	事業

#### 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

421

#### (1) 事業概要

体系コード

基本目標

政策

施策

事業概要

政策体系

施設の設置者として、図書館の運営・維持管理について、業務の監視や実地調査、報告書の内容確認などを行うとともに、指定管理者に対し適正な指導・助言を 行い、図書館及び視聴覚ライブラリーの利用の促進を図る。

(3)目標値

根拠法令、条例等

図書館法、佐野市図書館条

例

(2)目的

目的
(本事業に
よって成し
遂げたい
状態)

図書館等の指定管理者に適正な指導・助言を行うことにより、市民によりよい図書館サービスを提供する。

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
入館者数	人	343,000	343,000	343,000	343,000	343,000
貸出点数	点	519,000	519,000	519,000	519,000	519,000

目

開始年度

終了年度

事業

期間

#### 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

		活動指標	単位	R3	R4	R5
	指定管理施設:図書館、田沼図書館、葛生図書館、視聴覚ライ	月例報告会開催数	回	9	12	12
	ブラリー	修繕·工事件数(市予算)	件	5	3	3
活動実績 (R5年度に 行った主な活 動内容)	・図書館資料の発注・除籍・寄贈受入の承認					
	・各種行事の開催の承認 ・必要な修繕・工事箇所の把握、実施	事業費計	千円	153,295	154,137	167,387
	・月1回の図書館月例報告会の実施	一般財源	千円	153,294	154,135	167,385
	・指定管理者との連絡調整	特定財源(国・県・他)	千円	1	2	2
		内足剂冰(国来位)	113	_	_	_

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明
(定量及び
定性)

市民によりよい図書館サービスを提供することができた。 例えば、令和5年度から指定期間が始まった指定管理者により、電子図書館や子連れでも気軽に来館していただくための「のびのびタイム」など、新たな取り組みが始まった。

	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
	入館者数	人	173,351	218,317	246,178	値が大きいほど良い	効果が上がった
Ē	貸出点数	点	368,729	425,178	448,798	値が大きいほど良い	効果が上がった

#### (5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用が増加した
効果	効果が上がった指標数	2指標
,,,,,,,,,,	効果は変わらない指標数	0指標
	効果が下がった指標数	0指標
指標値増減)	指標全体	効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し			
用	費用が増加した	$\circ$		

#### 4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

前年度より利用者、貸出点数ともに回復をしたが、いずれも新型コロナウイルス感染症以前の水準には戻っていない。 なお、費用が増加した要因は、令和5年度より指定管理期間が3期目に入ることに伴い、指定管理料を見直したためである。

#### (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

П	事業の在り方検討	(廃止、	休止.	再編成.	受益者負担の見直しなど)

☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

#### 取組説明

- ・行事等の充実及び広報活動強化により利用者数等の増を図る。
- ・指定管理者との連携を密にし、統一的な見解で業務に取り組む。

事業名	図書館	CB廃棄	<b>译物処理事業</b>	実施計画事業or一般事業	— <sub>j</sub>	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情	<b>青報</b>									
	部	教育部		予算中事業名		会計		事業計画		度のみ
担当組織	課	生涯学習課		図書館PCB廃棄物処理事	予算			新規or継続		事業
	係	社会教育係		業	科目	項	4	市単独or国県補助		<b>虫事業</b>
	体系コード			根拠法令、条例等		目		義務or任意		的事業
政策体系	基本目標		豊かな心を育み、学び合うまちづくり	ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適		開始年度		実施方法		委託
	政策 施策		地域とともに学び育てるまちづくり 生活を豊かにする生涯学習の推進	正な処理の推進に関する特別措置法	期間	終了年度	R5	事業分類	施設維持	管理事業
<b>2. 事業</b> 机 (1)事績	概要と目的及		画期間内)目標値							
事業概要	佐野市立図	図書館のに保管	管している低濃度 Р С В廃棄物について、	PCB廃棄物処分計画指針に	基づき処	<u>いかを行う。</u>				
(2)目的	þ			(3)目標値						
				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				不都合なく安全利用できた利用者の割合	%			100		
(本事業によって成し	利用者に不		≧に利用してもらう。							
遂げたい	が用るに行	<b>、明ロゆ/女王</b>	ことが通じてもうり。							
状態)										
2 前年日	まの宝徳(8	エチルフパギロ	1							
<b>ろ. 削平</b> ほ (1)活動		白勁及び負用	<b>日対効果)説明</b>	(2)活動を説明する数値デ	_537	(車業費の指	#轻			
(1) /0%	大順							D.F.		
				活動指標 	単位	R3	R4	R5		
				対象となるPCB廃棄物数	台			3	3	
活動実績										
			している低濃度PCB廃棄物(高圧トラ							
	ンス3台)	の運搬・処分	を行う。	事業費計	千円	0	0	521		
動内容)				一般財源	千円			521		
								321		
				特定財源(国·県·他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円					
(2) 汗垂				(4) 車業効用を説明する物	(古二)	か性段			1 255 1 7	~ <del>~</del>
(3) 冶里	川による刈来			(4)事業効果を説明する数 効果指標	単位	R3	R4	R5	↓選択して	R4とR5の比較
				不都合なく安全利用できた利用者の割合	学位	KS	K4		値が大きいほど良い	効果が上がった
効果説明				11部日本(文王市が)(で)だけが)日の部日	70			100	and yet one party.	MAN IN SIC
(定量及び	学習の場が	整備されてい	る。							
定性)										
(=\ <del></del>	n + 1 + 1 - = * * * =	n /4-2000:	>			1		1		
		果(自動判定		a Territoria de la		İ		***		1
	とR4の一般 効果が上が		費用が増加した1指標	※10万円以上の増減により判断			効果が上がった	効果 効果は変わらない	効用が下がった	
効果	効果は変わり		0指標		費	費用は下がった	刈木が上がりに	刈木は支わりない	が未が トルツに	
(R5とR4の 指標値増減)	効果が下が	った指標数	0指標		用	費用の増減無し				
1日1示102日/成)		指標全体	効果が上がった		713	費用が増加した	$\circ$			
	<b>きに向けた検</b> ロ5年度の事		ける反省点、環境変化や関係者からの意見	場を踏まえた検討課題、費用対	効果向	]上のための[	課題			
年度内にエ	事完了がで	きた。								
(2) 上語	2反省点及で	が課題を踏まえ	えた、令和6年度及び令和7年度の取組	取組説明						
	事業効果を 事業費の見 業務時間交	上げるための 直し検討 か率化のための	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討 の事務改善の検討							

作成・更新日 2024	年8月9E
-------------	-------

事業名	図書館協	協議会運営	事業	実施計画事業or一般事業	<b>一</b> 拍	股事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情	輯						•		•	
	部	教育部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度網	繰り返し
担当組織	課	生涯学習課		(C) 表	予算	款	10	新規or継続	継続	事業
	係	社会教育係		図書館協議会運営事業	科目	項	4	市単独or国県補助	市単独	事業
	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等		目	3	義務or任意	任意的	<b>与事業</b>
政策体系	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり	図書館法、佐野市図書館条	事業	開始年度	S26	実施方法	直	営
以水件水	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり	例	期間	終了年度	-	事業分類	審議会等	運営事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進	の推進		•	•		•	•
つ 車架相	正無し日めて	いりませる	高期目中 \ 日播店		-					

#### 2.事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

図書館条例に基づく、図書館協議会の運営事業に伴う経費。

(2)目的

事業概要

(3)目標値

		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的		協議会委員からの意見・助言数	件	15	15	15	15	15
(本事業に よって成し	よりよい図書館の運営が図られるよう、図書館協議会委員より意見							
まって成し 遂げたい 状態)								

#### 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

		活動指標	単位	R3	R4	R5
	・図書館協議会の開催	図書館協議会開催数		2	2	2
	第1回:6月22日(木) 出席委員12名					
活動実績 (R 5 年度に たった主な活動内容) 第2回:10月26日(木)出席委員12名 ・指定管理事業評価の実施 2月15日(木)~3月8日(金)・指定管理事業評価のための図書館見学会の開催 2月15日(木)田沼図書館						
	*指定管理事業評価の実施 2月15日(木)~3月8日(金) *指定管理事業評価のための図書館見学会の開催	事業費計	千円	160	175	167
		一般財源	千円	160	175	167
		特定財源(国·県·他)	千円			
		(うち受益者負担)	千円			

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
(定量及び
定性)

協議会委員からの意見や助言を図書館運営に反映し、よりい図書 館運営を図ることができた。

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
協議会委員からの意見・助言数	件	15	15	15	値が大きいほど良い	効果は変わらない

#### (5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用の増減無し
か田	効果が上がった指標数	0指標
効果	効果は変わらない指標数	1指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標值増減)	指標全体	効果は変わらない

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し		0	
用	費用が増加した			

#### 4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

指定管理事業評価について、図書館見学会に加えて評価項目に対応した図書館事業説明の資料を作成し、分かりやすい評価の実施に努めた。

#### (2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

□ 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しな		事業の在り方検討	(廃止、休止、	再編成、	受益者負担の見直しなど
----------------------------------	--	----------	---------	------	-------------

☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

指定管理事業評価について、より分かりやすく、また効果的な内容を検討する。 また、協議会委員に図書館の現状や課題、今後のあり方を把握・検討していただくため、現地視察や指定管理者とのより連携した情報共有の仕方について検討する。

作成·更新日

2024年8月9日

出級機能の登録地域の開催後   SOGS   送売かり   からかって   残っていると、   技術を表現   日本の日本   大学の日本の日本   大学の日本の日本   大学の日本の日本   大学の日本の日本   大学の日本の日本   大学の日本の日本   大学の日本	.— -	5.272		. (1-14-5-17-2	4,						
当日報   京本   お立部   子書中平年名   公司   一切   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日	事業名	中央公臣	<b>記館維持</b> 管	理事業	実施計画事業or一般事業	—,	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
### 25					施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
日本の次の   日本	1. 基本情		ᄽᄼᅔᅁ		マ笠山市戦力		∆≣⊥	άЛ	古光計画	出左南	たない EI
中央公理部	日当組織				<u> </u>	子質					
検索元子  4   単分化が表示。学行会がようびの   原産   2   地域とは、下り行きますびの   原産   2   地域とは、下り行きますが   日本   2   地域・特別   2   地域					中央公民館維持管理事業		<b></b>				
基本科技   単かな心を済み、契行会も立づの   機能・   2 地域とに受けっている。   2 地域とに対している。   2 地域とは対している。   2 地域といる。   2				名称	根拠法令、条例等				義務or任意		
設定   1 地域ととに、下行でできまっての   保護・中央   1 の	T-6511 T					事業	開始年度	S34	実施方法		
2. 平葉和景と目の及び(基本計画期間内)目標値 (1) 事業問要 (1) 事業問要 (2) 目が (2) 目が (2) 目が (3) 目標値 (4) 中央公園館券佐料成立名間の番値、清掃、各種保守、修経等の維持管理を選切に実施し、公民館利用音や影域住民が安全で快適な施設利用ができて実施を置行する。 (3) 目標値 (4) 対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<b>以</b> 束体糸	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり	佐野市公民館条例			_	事業分類	施設維持	管理事業
中央公民協兼使野地区公民館の関係。決局、各種保守、修輔等の維持管理を創切に実施し、公民館利用者や地域住民が安全で状態な総設利用ができて東東を送行する。		施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進			•				
放出地域   単位 R3 R4 R5 R6 F   PR	(1)事業	学概要 中央公民館	宮兼佐野地区		の維持管理を適切に実施し、公	·民館利	用者や地域	ば住民が安 <u>金</u>	全で快適な	施設利用力	ができるよう
放出地域   単位 R3 R4 R5 R6 F   PR	(-) <b>-</b> (				(-)						
中央公民配利用名数	(2) 目的					14 / <del>-</del>	D2	D.4	סר	DC	D.7
(本事に、	目的										R7 25,700
2.7 (正成)		施設の適切	か維持管理の	こよる安全で快適な状能で公民館を利田	个人人以品利用自致		17,000	20,300	23,400	24,300	23,700
3. 前年度の実績 (活動及び資用対効果) 説明											
(1) 活動末舗 (2) 活動末舗 (2) 活動末舗 (2) 活動を設明する数値テーク及び事業費の推移 (2) 活動末続 単位 R3 R4 R5 維持管理に要した費用 千円 10,931 13,061 15,564 維持管理に要した費用 千円 10,931 13,061 15,564 維持管理に要した費用 千円 10,931 13,061 15,564 推持管理に要した費用 千円 10,931 13,061 15,564 推持管理に要した費用 千円 10,931 13,061 15,564 推持管理に要した費用 千円 10,931 13,061 15,564 上地信上料や受信料等の使用料及び賃信料等の施設維持管理 千円 10,931 13,061 15,564 一般財源 下円 8,790 9,765 12,321 特定財源 (国・県・他) 千円 2,141 3,296 3,243 (55受益者負担) 平円 2,141 3,296 3,243 (55受益者自担) 平円 2,141 3,296 3,243 (55受益者自用) 平円 2,141 3,296 3,243 (55受益者者自用) 平円 2,141 3,296 3,243 (55受益者者自用) 平円 2,141 3,296 3,243 (55受益者者自用) 平日 2,141 3,296 3,243 (55受益者者者自用) 平日 2,141 3,296 3,243 (55受益者者者者者者者者者者者者者者者者者者者者者者者者者者者者者者者者者者者		o escice	C ( 13/13 LL 3/1								
(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移	177.64)										
活動指標 単位 R3 R4 R5    接持管理に要した費用			5動及び費用	対効果)説明	(2) 活動を説明する数値デ	_勾环7	事業番の地	<b>‡</b> 移			
福持企画学・海洋品画学や修繕科等の需用費、通信運搬費や信害保険料等の   日本   10,931   13,061   15,564   15	(1)/山玉								DE		
・消耗品費や修繕料等の需用費、通信運搬費や信害保険料等の   RS 年度に向けた検討											
日本の					維持管理に要した費用	千円	10,931	13,061	15,564		
(3) 活動による効果 (4) 事業効果を説明する数値データの推移 (2) 上記反省点及び課題を踏まえ、6) 静存 (2) 上記反省点及び課題を踏まえ、6) 静存 (2) 上記反省点及び課題を踏まえた。令和6年度及び令和7年度の取組 取組説明 事業の印力が検討 (注) 上記反省点及び課題を踏まえた。令和6年度及び令和7年度の取組 取組説明 事業の印力が検討 (注) 「未) 年報の見直し検討 事業費の見回し検討 (注) 「本) 「本) 「本) 「本) 「本) 「本) 「本) 「本) 「本) 「本		※お口弗や修従物なの命口弗 、3.6、実物弗や傷字に除りなの									
世間上料や受信料等の使用料及び賃借料等の施設維持管理   事業費計   干円   10,931   13,061   15,564   一般財源   干円   8,790   9,765   12,321   特定財源 (国・県・他)   干円   2,141   3,296   3,243   (3) 活動による効果   (4) 事業効果を説明する数値データの推移   少選択して下さ   効果指標   単位   R3   R4   R5   指標の連切な維持管理により、公民館の利用者数は年々増加して   いる。											
に要する予算を執行した。	(				古光串計	τm	10.031	12.061	15 564		
一般財源   千円   8,790   9,765   12,321   特定財源 (国・県・他)   千円   2,141   3,296   3,243   (55受益者負担)   千円   2,141   3,296   3,243   (4) 事業効果を設計する数値データの推移					2 1112 121			13,061			
(3) 活動による効果 (4) 事業効果を説明する数値データの推移				,	一般財源	千円	8,790	9,765	12,321		
(3) 活動による効果					特定財源(国·県·他)	千円	2,141	3,296	3,243		
(3) 活動による効果					(うち受益者負担)	千円	2.141	3.296	3.243		
加果説明 施設の適切な維持管理により、公民館の利用者数は年々増加して (定量及び 定性)								-,	-7		
加泉が開放した。	(3)活動	かによる効果						D.4	D.F.		
が果説明 施設の適切な維持管理により、公民館の利用者数は年々増加して しる。					775-17-5-75-				_		
(5) 費用対効果結果 (自動判定) 費用 (R5とR4の一般財源増減) 費用が増加した 効果 効果は変わらない指標数 0指標 効果は変わらない指標数 0指標 効果が上がた指標数 0指標 効果が上がた指標数 0指標 動果が上がった 1個機の関域	効果説明	梅型の第七	比维特等细度	これの民館の利用多物は年を増加して	中央公氏貼利用有釵		14,989	21,315	24,419	値が大きいほと良い	効果が上がった
(5) 費用対効果結果 (自動判定)  費用 (R5とR4の一般財源増減) 費用が増加した	(定量及び		は正は日注	とより、五氏語の利用有数は年々項加して							
	定性)	V 100									
情用 (R5とR4の一般財源増減)											
情用 (R5とR4の一般財源増減)	(こ) 弗口	<b>コナナナカ EEP タナ P</b>	日 /白新州	7)							
効果が上がった指標数   1指標   効果が上がった指標数   の指標   効果が上がった   効果は変わらない 均果が下がった   効果は変わらない 均果が下がった   効果が下がった   効果が下がった   利果が下がった   利果が下がった   利果が上がった   利果が上がった   利果が上がった   利果が出がし、   利用が出がし、   利用が出が出が出が出が出が出が出が出が出が出が出が出が出が出が出が出が出が出が出					  ※10万円以上の増減に上り判断				効里		]
効果は変わらない指標数   ①指標   効果が下がった指標数   ①指標   効果が下がった指標数   ①指標   対果が上がった   関用の環域画し					ハ エ U / J   JVA エッジロ/MICみソナゴ以			効果が上がった		効果が下がった	
指標値増減   指標全体   効果が上がった   用   両用が増加し   (1) 令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題   (2) 上記反省点及び課題を踏まえ、的確な施設の維持管理に努める必要がある。   (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組   取組説明   事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)   事業効果を上げるための事務改善の検討   事業費の見直し検討   業務時間効率化のための事務改善の検討		効果は変わら	おい指標数	0指標		費					
4. 次年度に向けた検討 (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題 を設の老朽化や電気料の高騰を踏まえ、的確な施設の維持管理に努める必要がある。 (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組 □ 事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)□ 事業効果を上げるための事務改善の検討 □ 事業費の見直し検討 □ 業務時間効率化のための事務改善の検討		効果が下が				用		$\overline{}$			
□ 事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) □ 事業効果を上げるための事務改善の検討 □ 事業費の見直し検討 □ 業務時間効率化のための事務改善の検討	(1)令和 施設の老朽	35年度の事	■業実施におい ・の高騰を踏ま	え、的確な施設の維持管理に努める必要が		対 果 向	]上のための	課題			
□ 事業効果を上げるための事務改善の検討 □ 事業費の見直し検討 □ 業務時間効率化のための事務改善の検討	, ,				取組説明						
▼ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)		事業効果を 事業費の見 業務時間效	上げるための 直し検討 か率化のための	事務改善の検討							

仕事	:事の振り返りシート(令和5年度実施分) (場・更新日 2024年8月9日)									
事業名	全    佐野各地区公民館維持管理事業     実施計画事業or一般事業     一般事業   市長公約   該当なし   総合戦略   該当なし									該当なし
7.7.1	144) H-		14 P. P. P. P. P. P. P. P. P. P. P. P. P.	施策横断的な取組との関連性	SDGs		コンパクトシティ		スマートシティ	該当なし
1. 基本情	輯			SOUTH TO PRIZE TRUE				2123		
	部	教育部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度網	繰り返し
担当組織	課	生涯学習課		佐野各地区公民館維持管理事業	予算	款	10	新規or継続	継続	事業
	係	生涯学習係		性的各地区公民临租村自住事来	科目	項	4	市単独or国県補助	国県補	助事業
	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的	事業
政策体系	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり		事業	開始年度	H17	実施方法	一部	委託
以來作术	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり	佐野市公民館条例	期間	終了年度	_	事業分類	施設維持	管理事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進							<u>.</u>
	<b>玩要と目的及</b> 美概要	とび(基本計	画期間内)目標値							
事業概要	/ 佐野冬地区小足館7館の施設保全及7隊株基管理に伴う事務終費 対象け 植野地区小足館 男地区小足館 光伏地区小足館 城北地区小足館 旗川地区									
(2)目的	)	·		(3)目標値						

効果指標 単位 R3 R4 目的 佐野各地区公民館の利用者数 80,000 90,000 100,000 110,000 115,000 (本事業に 安全で快適な状態で公民館を利用して頂くことで、利用者数を増や よって成し 遂げたい 状態)

### 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

		活動指標	単位	R3	R4	R5
		維持管理に要した費用	千円	24,107	28,955	29,254
	市民に安心・安全に公民館を使用して頂けるよう、各地区公民館の					
活動実績 (R5年度に	維持補修及び管理を実施した(修繕及び警備、清掃、保守業務 委託等を実施)。また、光熱水費等の支払いや、施設や事務に必					
行った主な活動内容)	要な消耗品の購入、公用車の車検時等における修繕等を実施し	事業費計	千円	24,107	28,955	29,254
到四分	た。	一般財源	千円	23,431	28,083	27,966
		特定財源(国·県·他)	千円	676	872	1,288

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

		効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
÷L == × 10		佐野各地区公民館の利用者数	人	81,208	100,688	110,371	値が大きいほど良い	効果が上がった
効果説明	施設の適切な維持管理を図ったことにより、佐野各地区公民館の利							
(定量及び 定性)	用者数が増加している。							
足江)								

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用は下がった
効果	効果が上がった指標数	1指標
	効果は変わらない指標数	0指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標値増減)	指標全体	効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった	0		
用	費用の増減無し			
ж	費用が増加した			

#### 4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

施設の老朽化に伴う設備の故障により、利用者が設備を使用することができなかったことに対し、早急に修繕するよう要望があった。利用者が、安全・ 安心に公民館を利用出来るように、施設の老朽化や電気料の高騰を踏まえ、的確な施設の維持管理に努める必要がある。

(2)上記	記反省点及び課題を踏まえた、	、令和6年度及び令和:	7年度の取組
-------	----------------	-------------	--------

	取組説明	
□ 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)		•
□ 事業効果を上げるための事務改善の検討		
□ 事業費の見直し検討		
□ 業務時間効率化のための事務改善の検討		
☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)		

仕事	:事の振り返りシート(令和5年度実施分) (城・東新日 2024年8月9日)									年8月9日
事業名	名   佐野各地区公民館維持管理事業   実施計画事業or一般事業   一般事業   市長公約   該当なし   総									該当なし
7.7.1	144) H-		14 P. P. P. P. P. P. P. P. P. P. P. P. P.	施策横断的な取組との関連性	SDGs		コンパクトシティ		スマートシティ	該当なし
1. 基本情	輯			SOUTH TO PRIZE TRUE				2123		
	部	教育部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度網	繰り返し
担当組織	課	生涯学習課		佐野各地区公民館維持管理事業	予算	款	10	新規or継続	継続	事業
	係	生涯学習係		性的各地区公民临租村自住事来	科目	項	4	市単独or国県補助	国県補	助事業
	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的	事業
政策体系	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり		事業	開始年度	H17	実施方法	一部	委託
以來作术	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり	佐野市公民館条例	期間	終了年度	_	事業分類	施設維持	管理事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進							<u>.</u>
	2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値 (1) 事業概要									
佐野各地区公民館7館の施設保全及び維持管理に伴う事務経費。対象は、植野地区公民館、界地区公民館、犬伏地区公民館、城北地区公民館、旗川地区公民館、吾妻地区公民館、赤見地区公民館。										
(2)目的	)	·		(3)目標値						

効果指標 単位 R3 R4 目的 佐野各地区公民館の利用者数 80,000 90,000 100,000 110,000 115,000 (本事業に 安全で快適な状態で公民館を利用して頂くことで、利用者数を増や よって成し 遂げたい 状態)

### 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

		活動指標	単位	R3	R4	R5
		維持管理に要した費用	千円	24,107	28,955	29,254
	市民に安心・安全に公民館を使用して頂けるよう、各地区公民館の					
/D F /F ##	活動実績 (R5年度に 行った主な活動内容) 維持補修及び管理を実施した(修繕及び警備、清掃、保守業務 委託等を実施)。また、光熱水費等の支払いや、施設や事務に必要な消耗品の購入、公用車の車検時等における修繕等を実施した。					
行つに王な沽		事業費計	千円	24,107	28,955	29,254
到四分		一般財源	千円	23,431	28,083	27,966
		特定財源(国·県·他)	千円	676	872	1,288

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

		効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
÷L == × 10		佐野各地区公民館の利用者数	人	81,208	100,688	110,371	値が大きいほど良い	効果が上がった
効果説明	施設の適切な維持管理を図ったことにより、佐野各地区公民館の利							
(定量及び 定性)	用者数が増加している。							
足江)								

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用は下がった				
効果	効果が上がった指標数	1指標				
	効果は変わらない指標数	0指標				
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標				
指標値増減)	指標全体	効果が上がった				

※10万円以上の増減により判断

		効果					
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった			
費	費用は下がった	0					
用	費用の増減無し						
ж	費用が増加した						

#### 4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

施設の老朽化に伴う設備の故障により、利用者が設備を使用することができなかったことに対し、早急に修繕するよう要望があった。利用者が、安全・ 安心に公民館を利用出来るように、施設の老朽化や電気料の高騰を踏まえ、的確な施設の維持管理に努める必要がある。

(2)上記	記反省点及び課題を踏まえた、	、令和6年度及び令和:	7年度の取組
-------	----------------	-------------	--------

	取組説明	
□ 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)		•
□ 事業効果を上げるための事務改善の検討		
□ 事業費の見直し検討		
□ 業務時間効率化のための事務改善の検討		
☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)		

仕事	:事の振り返りシート(令和5年度実施分) (城・東新日 2024年8月9日)									年8月9日
事業名	名   佐野各地区公民館維持管理事業   実施計画事業or一般事業   一般事業   市長公約   該当なし   総									該当なし
7.7.1	144) H-		14 P. P. P. P. P. P. P. P. P. P. P. P. P.	施策横断的な取組との関連性	SDGs		コンパクトシティ		スマートシティ	該当なし
1. 基本情	輯			SOUTH TO PRIZE TRUE				2123		
	部	教育部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度網	繰り返し
担当組織	課	生涯学習課		佐野各地区公民館維持管理事業	予算	款	10	新規or継続	継続	事業
	係	生涯学習係		性的各地区公民临租村自住事来	科目	項	4	市単独or国県補助	国県補	助事業
	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的	事業
政策体系	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり		事業	開始年度	H17	実施方法	一部	委託
以來作术	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり	佐野市公民館条例	期間	終了年度	_	事業分類	施設維持	管理事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進							<u>.</u>
	2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値 (1) 事業概要									
佐野各地区公民館7館の施設保全及び維持管理に伴う事務経費。対象は、植野地区公民館、界地区公民館、犬伏地区公民館、城北地区公民館、旗川地区公民館、吾妻地区公民館、赤見地区公民館。										
(2)目的	)	·		(3)目標値						

効果指標 単位 R3 R4 目的 佐野各地区公民館の利用者数 80,000 90,000 100,000 110,000 115,000 (本事業に 安全で快適な状態で公民館を利用して頂くことで、利用者数を増や よって成し 遂げたい 状態)

### 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

		活動指標	単位	R3	R4	R5
		維持管理に要した費用	千円	24,107	28,955	29,254
	市民に安心・安全に公民館を使用して頂けるよう、各地区公民館の					
/D F /F ##	活動実績 (R5年度に 行った主な活動内容) 維持補修及び管理を実施した(修繕及び警備、清掃、保守業務 委託等を実施)。また、光熱水費等の支払いや、施設や事務に必要な消耗品の購入、公用車の車検時等における修繕等を実施した。					
行つに王な沽		事業費計	千円	24,107	28,955	29,254
到四分		一般財源	千円	23,431	28,083	27,966
		特定財源(国·県·他)	千円	676	872	1,288

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

		効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
÷L == × 10		佐野各地区公民館の利用者数	人	81,208	100,688	110,371	値が大きいほど良い	効果が上がった
効果説明	施設の適切な維持管理を図ったことにより、佐野各地区公民館の利							
(定量及び 定性)	用者数が増加している。							
足江)								

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用は下がった				
効果	効果が上がった指標数	1指標				
	効果は変わらない指標数	0指標				
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標				
指標値増減)	指標全体	効果が上がった				

※10万円以上の増減により判断

		効果					
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった			
費	費用は下がった	0					
用	費用の増減無し						
ж	費用が増加した						

#### 4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

施設の老朽化に伴う設備の故障により、利用者が設備を使用することができなかったことに対し、早急に修繕するよう要望があった。利用者が、安全・ 安心に公民館を利用出来るように、施設の老朽化や電気料の高騰を踏まえ、的確な施設の維持管理に努める必要がある。

(2)上記	記反省点及び課題を踏まえた、	、令和6年度及び令和:	7年度の取組
-------	----------------	-------------	--------

	取組説明	
□ 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)		•
□ 事業効果を上げるための事務改善の検討		
□ 事業費の見直し検討		
□ 業務時間効率化のための事務改善の検討		
☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)		

<del></del>	<u> </u>	7 A-1/E-144 =	= 1114							T
事業名	中央公民	民館運営事		実施計画事業or一般事業		投事業			総合戦略	
	<b>生</b>			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
L. 基本情	部	教育部		予算中事業名		会計	<u>ф</u> Д	事業計画	単年度	
	課	生涯学習課			予算	款		新規or継続		事業
=	係	中央公民館		中央公民館運営事業		項	4	市単独or国県補助		<u>生态</u> 虫事業
	体系コード	421		根拠法令、条例等		目	2	義務or任意		的事業
トレケケ ハ エ	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり		事業	開始年度	H7	実施方法	直	[営
<b>改策体系</b>	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり	佐野市公民館条例		終了年度	_	事業分類	施設維持	管理事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進							
(1)事業	美概要		画期間内)目標値 計年度任用職員に対する人件費及び夜間	、週休日、休日に開館するため	の会計4	∓度任用労	務職員に対	対する人件費	## o	
(2)目的	5			(3)目標値					-	
(= /	-			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				中央公民館利用者数	人	17,600				
(本事業に	公民館を夜	間、週休日為	及び休日に利用しやすくすることで利用者数				-	-		
よって成し 遂げたい	を増やす。									
状態)									<u> </u>	
									·	
<b>3.前年度</b> (1)活動		舌動及び費用	]対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	_ <i>D</i> T371	事業毒の地	<b>#</b> 轻			
(工) /口玉	人人							DE	I	
				活動指標	単位	R3	R4	R5	İ	
				会計年度任用職員等の費用	千円	4,451	4,530	5,079	İ	
	・会計年度	任用職員1:	名により、施設の貸し出し業務、維持管理						I	
活動実績 業務等の庶務事務を実施した。 R5年度に ・ 全計年度任田労務職員2名により、平日の夜間(午後5時1)								I		
							1			
テった主な活 動内容)	5分から午	後10時まで	ご) 並びに週休日及び休日における施設の	事業費計	千円	4,451	4,530	5,079		
#J/ 1 <del></del> /	管理等を実	施した。		一般財源	千円	4,451	4,521	5,064	İ	
				特定財源(国・県・他)	千円		9	15	I	
							,	13	İ	
				(うち受益者負担)	千円				i	
(3)活重	かによる効果			(4) 事業効果を説明する数	値データ	の推移			↓選択して	て下さい
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
LI 00 = ¥ 00				中央公民館利用者数	人	14,989	21,315	24,419	値が大きいほど良い	効果が上がった
効果説明 (定量及び	施設の適切	]な運営により	、公民館の利用者数は年々増加してい						<u> </u>	
定量及0	る。								<b></b>	
,									}	
(5)費用	対効果結果	果(自動判定	≣)							
費用(R5	とR4の一般		費用が増加した	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上が		1指標			悪田は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
(R5とR4の	効果が下が	うない指標数_ った指標数	0指標 0指標		費	費用は下がった				
旨標値増減)		指標全体	効果が上がった		用	費用が増加した	0			]
(1)令和		 事業実施にお	ける反省点、環境変化や関係者からの意見 いよう、公民館職員の人件費および人員の確				課題			
			えた、令和6年度及び令和7年度の取組	取組説明						
	事業効果を 事業費の見 業務時間效	上げるための 1直し検討 か率化のための	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討 の事務改善の検討	<u> </u>						

事業名	佐野各均	也区公民館	運営事業	実施計画事業or一般事業	—f	投事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情	部	教育部		予算中事業名		会計		事業計画	単年度	給いた」
担当組織	課	生涯学習課			予算	款		新規or継続	継続	
	係	生涯学習係		佐野各地区公民館運営事業	科目	項	4	市単独or国県補助		中華業
	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的	勺事業
政策体系	基本目標		豊かな心を育み、学び合うまちづくり		事業	開始年度		実施方法	直	
	政策 施策		地域とともに学び育てるまちづくり 生活を豊かにする生涯学習の推進	佐野市公民館条例	期間	終了年度	_	事業分類	施設維持	管理事業
<b>2. 事業</b> 概 (1)事業	概要と目的及	<b>とび(基本計</b> 区公民館7館 <i>0</i>	画期間内)目標値 D運営及び施設管理に伴う人件費等。対象	は、 植野地区公民館、 界地区	公民館	、犬伏地区	公民館、坂	<b></b> 北地区公	民館、旗川	地区公民
	1年10日安心	四五氏語、勿	5見地区公民館。 							
(2)目的	<u> </u>			(3)目標値				T		ı
目的				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
(本事業に	安全で快適	が状能で小目	民館を利用して頂くことで、利用者数を増や	佐野各地区公民館の利用者数	人	80,000	90,000	100,000	110,000	115,000
よって成し	す。	20100000	The entire of the care							
遂げたい 状態)										
	度の実績(活	舌動及び費用	対効果)説明							
(1)活動	<b>加実績</b>			(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	事業費の推	接移	T	1	
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
				会計年度任用職員等の費用	千円	33,094	28,085	28,699		
佐野各地区公民館7館の運営および施設管理に伴う報酬等の支活動実績 (R5年度に 【今和5年度今計年度公民幣長本】(今和6年2月21日現在)										
行った主な活	でた主な活		事業費計	千円	33,094	28,085	28,699			
動内容)			证制、土日祝日勤務) [間、土日祝日勤務]	一般財源	千円	33,007	28,012	28,590	Ī	
					千円	87	73	-		
				(うち受益者負担)	千円	07	,3	103		
				(力分支益有其担)	TD				]	
(3)活動	かによる効果			(4) 事業効果を説明する数					↓選択して	
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	
効果説明	施設の田海	か運営を図っ	たことにより、佐野各地区公民館の利用者	佐野各地区公民館の利用者数	人	81,208	100,688	110,3/1	値が大きいほど良い	効果が上がった
(定量及び	数が増加し		たことにより、住野古地区五氏品の利用日							
定性)	3000 11300									
(5)費用	月対効果結果	果(自動判定	?)							
費用(R5	とR4の一般	財源増減)	費用が増加した	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上が	った指標数 おない指標数	1指標		-110	悪田は丁松-た	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
(R5とR4の	効果が下が		0指標 		費田	費用は下がった				
指標値増減)		指標全体	効果が上がった		用	費用が増加した	0			]
(1)令和公民館利用(2)上記	月者が施設を 記反省点及で	事業実施におい ・利用しやすい が課題を踏まえ	ける反省点、環境変化や関係者からの意見よう、各地区公民館の人件費及び人員の はた、令和6年度及び令和7年度の取組、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)			」上のための	課題			
	事業効果を 事業費の見 業務時間效	上げるための! !直し検討 か率化のための	事務改善の検討 )事務改善の検討 犬維持又は現状の計画通り)							

作成・更新日 2024年8月9日

事業名	<b>業名 公民館親と子の交流活動事業</b>		実施計画事業or一般事業	一般事業		市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当あり		
1. 基本情	報									
	部	教育部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度	繰り返し
旦当組織	織 課 生涯学習課		予算	予算	款	10	新規or継続	継続	事業	
	係	中央公民館		公氏路税と丁の文派泊勤争未	科目	項	4	市単独or国県補助	市単独	事業
	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等		田	2	義務or任意	任意的	的事業
政策体系	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり		事業	開始年度	S51	実施方法	直	営
LXXX PT/I	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり	社会教育法	期間	終了年度	I	事業分類	イベント等	開催事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進			•	•			
					-					

#### 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

( - ) 3 2 ( 1902

5歳から8歳までの子どもとその親に対し、子の心身の健全な育成と親子の心の交流促進を図るうえで、学習グループ活動講座を土曜日又は日曜日の午前に行う。

(2)目的

事業概要

(3)目標値

目的 (本事業に よって成し 遂げたい 状態)

親と子の交流活動により学ぶ楽しさを知る、自己学習能力の向上 並びに親子の信頼関係の醸成を推進する。

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
講座内容が充実していたと感じる受講者割合	%	100	100	100	100	100

#### 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(1) /11	32/15		////	ナベチャバ	-17	
		活動指標	単位	R3	R4	
・ 会和元在度から、親と子のふれあい活動を土曜日又は日曜日に	講座回数	回	8	12		
	参加者延べ員数	人	332	361		
活動美領 (R5年度に	(R 5 年度に ・ 令和5年度は、親子で科学に親しもう、音楽とリズムで心も体もリフ 行った主な活 レッシュ、押し花ですてきなうちわを作ろう、みんなで楽しくパドル体					
		事業費計	千円	1,900	1,966	
動内容)   操、折り紙でクリスマス飾りを作ろう、、親子で仲良くミニ門松作!   各講座を開催した。	一般財源	千円	1,896	1,960		
	日時生で河底のため	特定財源(国·県·他)	千円	4	6	
		(うち受益者負担)	千円		·	

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

R5 12 291

2,131 2,121 10

効果説明 (定量及び 定性)

講座内容が充実していたと感じる受講者の割合は増加している。

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
講座内容が充実していたと感じる受講者割合	%	96	95	100	値が大きいほど良い	効果が上がった

(5)費用対効果結果(自動判定)

(6) 20 13/3/3/1011/10 (1123/13/2)							
費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用が増加した					
効果	効果が上がった指標数	1指標					
	効果は変わらない指標数	0指標					
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標					
指標値増減)	指標全体	効果が上がった					

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し			
用	費用が増加した	$\circ$		

#### 4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

親と子が参加したいと思えるような講座内容を検討・企画し、多くの方に参加していただけるような講座を開催する必要がある。

	(2)	上記反省点及び課題を踏まえた、	令和6年度及び令和7	'年度の取組
--	-----	-----------------	------------	--------

∐ ∜	事業の在り万検討	(廃止、休止、	再編成、	受益者負担の見直しなど)
-----	----------	---------	------	--------------

② 事業効果を上げるための事務改善の検討

] 事業費の見直し検討

| 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

参加者に対するアンケート結果の分析や時代のニーズをとらえることにより、より多くの方が参加 し、満足度の高い講座を企画する。また、オンライン開催については、要望があれば対応してい く。

<del>- 1114</del>		- // <b>-</b> // - //			ı			I		
事業名	田沼甲兒	<b>张</b>	<b>掛管理事業</b>	実施計画事業or一般事業		般事業 	市長公約		総合戦略	
4 <b>甘</b> 士/4	<b>±</b> ±₽			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情		教育部		予算中事業名		会計	1	事業計画	単年度	
	課	生涯学習課		」/昇中尹未石	予算			新規or継続	継続	
	係	田沼中央公	<b>民館</b>	田沼中央公民館維持管理事業	科目	項		市単独or国県補助	市単独	
	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等	77111	目		義務or任意	任意的	
	基本目標		豊かな心を育み、学び合うまちづくり	INSTITUTE OF THE PROPERTY OF T	事業	開始年度		実施方法		<del></del> 委託
政策体系	政策		地域とともに学び育てるまちづくり		期間	終了年度	_	事業分類		
	施策		生活を豊かにする生涯学習の推進		7 731-3	11/2		チボガバ	NODX/IE)	<u> </u>
<b>2. 事業</b> 概 (1)事第	美概要		画期間内)目標値	<b>ゆがなっかけれなり</b>	···· /		z \\ \tau \tau \\ \tau \\			
事業概要		業を遂行する	管理運営を行う。警備、清掃、各種保守。	、修繕寺の維持官理を適正に夫	他し、公	· 氏铝利用 6	319地地	氏//安主 0	『犬廻な加記	支利用かで
(2)目的	5			(3)目標値						
				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				田沼中央公民館利用者数	人	20,000	20,000	20,000	25,000	25,000
(本事業によって成し	施設の適切	な維持管理を	を行い、安全で快適な利用環境を提供す							
遂げたい	る。									
状態)										
2 前年度	まの宝徳(き	チ毛 ひが 井	対効果)説明							
<b>3. 削平</b> 总 (1)活動		5割及ひ貸用	<b>刘</b> 刘未/ 武明	(2)活動を説明する数値デ	5T57	ず業事のお	±19			
(1) /白里	人大利								1	
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
				維持管理に要した費用	千円	20,953	23,321	25,490		
R5年度に テった主な活	·	や修繕料等σ	需用費、火災保険料等の役務費、大						1	
			モや清掃委託料等の委託料、機械借上等 	÷.						
			3予算を執行した。	事業費計	千円	20,953	23,321	25,490		
動内容)	v))には大小正1つ	D-EICQ 7	) ] <del>}  </del> E	—————————————————————————————————————	千円	18,057	19,840	21,885	ľ	
							-		•	
				特定財源(国・県・他)	千円	2,896	3,481	3,605		
				(うち受益者負担)	千円	2,896	3,481	3,605		
(2) ) ] =	l (= 1 = ±1 m)			/ 4 \ = \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	/ <del>+</del> - "	14.167		II.	1 23450 -	
(3) 沽虫	かによる効果			(4)事業効果を説明する数			D.4	D.F.	↓選択して	
				効果指標 田沼中央公民館利用者数	単位	R3	R4	R5	指標の性質 値が大きいほど良い	R4とR5の比較 効果が上がった
効果説明	四次20世中人	(日命の利用	者数は適切な維持管理により増加してい	田沿中央公氏貼利用有致	人	14,076	19,463	22,994	値が大きいほと良い	効果が上かつに
(定量及び		立氏語の利用	<b>台奴は廻りな飛行台達により垣加してい</b>							
定性)	る。									
								<u> </u>		
		艮(自動判定	<u> </u>	_						1
費用(R5	とR4の一般		費用が増加した	※10万円以上の増減により判断				効果	AL COLUMN	
効果	効果が上が効果は変わら		1指標 0指標		æ	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
(R5とR4の	効果が下が		0指標		費	費用の増減無し				
指標値増減)		指標全体	効果が上がった		用	費用が増加した	0			
(1) 令和		= ■業実施におり	ける反省点、環境変化や関係者からの意り え、的確な施設の維持管理に努める必要		対効果向	]上のための	課題			
(2) 上訂	尼反省点及び	が課題を踏まえ	えた、令和6年度及び令和7年度の取組	取組説明	1					
	事業効果を 事業費の見 業務時間效	上げるための 直し検討 か率化のための	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討 )事務改善の検討 犬維持又は現状の計画通り)	<b>与</b> Xが吐高光の力	<u> </u>					

11 7	~ JJIK J		עוד כ חוינו							
事業名	田沼各地	也区公民館	維持管理事業	実施計画事業or一般事業	<b>—</b> ;	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情		<b>≯☆☆</b> ☆□		<b>又</b> 質由車 <b>業</b> 夕		∆≣∔		車器計画	出左帝	給いた
旦当組織	部課	教育部 生涯学習課		予算中事業名	予算	会計		事業計画 新規or継続	単年度組織	
브크카크카氏	係	田沼中央公	<b></b>	田沼各地区公民館維持管理事業		項	4	市単独or国県補助		<del></del> 助事業
	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等	- 1	<u> </u>	2	義務or任意	任意的	
	基本目標		豊かな心を育み、学び合うまちづくり		事業	開始年度		実施方法		<del>季</del> 託
政策体系	政策		地域とともに学び育てるまちづくり	」 佐野市公民館条例		終了年度			施設維持	
	施策		生活を豊かにする生涯学習の推進			113 112		3 3103330	2012(1)	<u> </u>
(1)事第	美概要		<b>画期間内)目標値</b> D維持管理を行う。対象は、田沼地区公E	R館、田沼南部地区公民館。						
(2)目的	<u> </u>			(3)目標値						
(2)日	ע			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				田沼各地区公民館の利用者数	人	8,000	8,000		9,000	9,000
(本事業に	施設の適切	な維持管理を	で行い、安全で快適な利用環境を提供す	四月日地区五氏品沙州川日妖		0,000	0,000	0,500	3,000	3,000
よって成し	る。									
遂げたい 状態)	<b>.</b>									
1八紀)										
<b>3.前年</b> 原 (1)活動		<b>手動及び費用</b>	対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及ひ	事業費の指	進移			
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
				維持管理に要した費用	千円	2.460	2,785	2 544		
				社付日生に安した貝用	ТП	2,469	2,765	2,544		
***********	田沼各地区	な公民館につい	NT安全で快適な利用を提供するため施設 の対象を表している。							
泊勤夫領 (R5年度に										
•			型及び消防設備の保守についての委託料 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	事業費計	千円	2,469	2,785	2,544		
動内容)	等の予算を	執行した。		5 51 15 52 1						
				一般財源	千円	2,399	2,624	2,295		
				特定財源(国·県·他)	千円	70	161	249		
				(うち受益者負担)	千円	70	161	128		
				(1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -			101	120		
(3)活動	かによる効果			(4) 事業効果を説明する数		の推移			↓選択して	下さい
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	
効果説明		*+		田沼各地区公民館の利用者数	人	7,072	8,049	8,419	値が大きいほど良い	効果が上がった
(定量及び		区民館施設	の利用者数は適切な維持管理により増加							
` 定性)	している。									
		<b>艮(自動判定</b>		7						1
費用(R5	とR4の一般		費用は下がった	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上が効果は変わら		1指標 0指標	-	費	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
(R5とR4の	効果が下が		0指標		用	費用の増減無し				
指標値増減)		指標全体	効果が上がった		Л	費用が増加した				
(1) 令和		翼業実施におい	ける反省点、環境変化や関係者からの意見 え、的確な施設の維持管理に努める必要		効果向	]上のための	課題			
(2) 上訂	記反省点及び	が課題を踏まえ	た、令和6年度及び令和7年度の取組	取組説明	<u> </u>					
	事業効果を 事業費の見	上げるための!	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討 事務改善の検討	4人中丘のルック						
	特に検討事	(祖),(祖)	状維持又は現状の計画通り)							

事業名	田沼中兒	是公民館運	<b>整営事業</b>	実施計画事業or一般事業		般事業		該当なし		
· 甘士/	<b>±</b> ±₽			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情	部	教育部		予算中事業名		会計	<u>6</u> _	事業計画	単年度	緑り近し
旦当組織	課	生涯学習課	<u> </u>		予算	款		新規or継続	<del></del>	
	係	田沼中央公		田沼中央公民館運営事業	科目	項		市単独or国県補助	市単独	
	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的	的事業
T.h.公とよって	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり		事業	開始年度	H7	実施方法	直	<u></u> 営
政策体系	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり	佐野市公民館条例	期間	終了年度	-	事業分類	施設維持	管理事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進							
(1)事第	美概要		画期間内)目標値							
事業概要	田冶中央2	公氏館の芸訂	年度任用職員に対する人件費。							
(2)目的	5			(3)目標値		1		1		
日的				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的 (本事業に				中央公民館利用者数	人	20,000	20,000	20,000	25,000	25,000
よって成し	公民館利用	目者数を増や	す。							
遂げたい										
状態)										
						1				
<b>3.前年</b> 原 (1)活動		舌動及び費用	3対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	が事業費の推	辪			
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
					千円	4,987	4,876	5,571		
				五川十次は川地東寺の東川	117	1,507	1,070	3,371		
活動実績 , 全計在度任田聯員 2 名に FD、施設の貸し出し業務、維持管理										
R5年度に	0 年度に									
テった主な活	美務寺のは	(務事務を実)	他した。	事業費計	千円	4,876	4,876	5,571		
動内容)				2 1112 121					_	
				一般財源		4,860	4,860	5,543		
				特定財源(国·県·他)	千円	16	16	28		
				(うち受益者負担)	千円					
(2) 75				/ 4 〉 東米 共 田 + 三 4 四 + 2 **	./±-"	h n 1416			1 /22 4 17 1 -	- <del></del> -1
(3) 活里	かによる効果			(4)事業効果を説明する数			D/I	DE	↓選択して	
				効果指標 中央公民館利用者数	単位人	R3 14,076	R4 19,463	R5 22,994	指標の性質	効果が上がった
効果説明				个人人以临州而自致		14,070	19,403	22,554	III// / CO-IACISO	が 未が エル・カに
(定量及び	田沼中央公	は民館の利用	者数は適切な運営により増加している。							
定性)										
( c ) 弗口	9.54.55 EP.4±5	果(自動判定	<b>⇒</b> )							
	とR4の一般		費用が増加した	*** 1 0 万円以上の増減により判断				効果		[
	効果が上が		1指標	※10万円以上の垣/(城により刊)			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
効果	効果は変わら	うない指標数	0指標		費	費用は下がった				
(R5とR4の 指標値増減)	効果が下が	った指標数 指標全体	<u>0指標</u> <b>効果が上がった</b>		用	費用の増減無し				
		旧尔土件	が未が上がうに	ı		冥/カ/ショルのた				
	<b>ぎに向けた検</b> 15年度の事		ける反省点、環境変化や関係者からの意見	等を踏まえた検討課題、費用対	対果向	」上のための	課題			
利用者が施	設を利用し	やすいよう、公	民館職員の人権費及び人員の確保により	、公民館運営を適切に行うように	する。					
(2)上語	尼反省点及び	が課題を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組	取組説明						
	事業効果を 事業費の見 業務時間效	上げるための 1直し検討 か率化のための	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討 の事務改善の検討 以維持又は現状の計画通り)	4Хліал. 47						

市型ク	田辺を単	1000000	2年光中平	-	<del>10. <del>г. эч.</del></del>	ナニハル	= ナハノュ・1	4/\ ∧ \\\\n=	=#11/201	
事業名	田冶各亚	退人公氏即	運営事業	実施計画事業or一般事業 施策横断的な取組との関連性		般事業 該当あり	市長公約コンパクトシティ	該当なし		該当なし
1. 基本情	報			加泉傾断的な取組との関連性	SDGS	談目のソ	コンハクトシティ	談当なし	スマートンティ	該当なし
		教育部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度	繰り返し
		生涯学習課		佐野各地区公民館運営事業	予算		10	新規or継続	継続	
		田沼中央公			科目	項		市単独or国県補助	市単独	
	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等		目	_	義務or任意	任意的	
政策体系	基本目標		豊かな心を育み、学び合うまちづくり	<b>/</b>		開始年度		実施方法	直	
	政策 施策		地域とともに学び育てるまちづくり 生活を豊かにする生涯学習の推進	佐野市公民館条例	州旧	終了年度	_	事業分類	他設維持	官理爭業
(1)事業 事業概要	に 性野各地区	公民館 1 1	画期間内)目標値 館の運営に伴う人件費等。対象は、田沼は 官、野上地区公民館、山園地区公民館、1					北部地区公	〉民館、戸刻	奈良地区
(2)目的	ī			(3)目標値						
(2) 👊	י			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				佐野各地区公民館の利用者数	人	8,000			9,000	9,000
(本事業に	絵트 主恵	ニトロンロチエバーノ	公民館を運営し、利用者数を増やす。			,	,			,
よって成し 遂げたい	<b>昨</b> 技、土争(	こみり2回り31に2	公氏館で連名し、利用有数を増わり。							
状態)										
						<u> </u>				
<b>3.前年度</b> (1)活動		動及び費用	対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	「事業費の抽	推移			
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
					千円	1,699	1,696	1,688		
(R5年度に					113	1,000	1,050	1,000		
	田沼各地区	公民館11	館の運営に伴う報酬等の支払いを行った。							
	【令和5年度	会計年度任	用職員数】(令和6年3月31日現在)							
	館長:11名			事業費計	千円	1,699	1,696	1,688		
動内容)	主事:11名	á		一般財源	千円	1,699	1,696	1,688		
					千円		,			
				(うち受益者負担)	千円					
(3)活動	かによる効果			(4) 事業効果を説明する数	値データ	の推移			↓選択して	下さい
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	
効果説明	ᇚᄁᄼᄡᅜ	·// □&÷4 4 &÷		田沼各地区公民館の利用者数	人	7,072	8,049	8,419	値が大きいほど良い	効果が上がった
(定量及び	田冶各地区いる。	公氏郎11郎	の利用者数は適切な運営により増加して							
定性)	いる。									
(5) 弗中	ᆉᆎᄪᆇᄩ	·····································	·)							
	とR4の一般則		費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上が		1指標				効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
メリス (R5とR4の	効果は変わら 効果が下がっ		0指標 	-	費	費用は下がった	0			
指標値増減)	<i>M</i> / <del>//</del> /////////////////////////////////	指標全体	効果が上がった		用	費用が増加した				
(1)令和田沼各地区	公民館の事	業実施におけ	ける反省点、環境変化や関係者からの意見 ひとしての役割を担う館長及び主事を確保 i.た、令和6年度及び令和7年度の取組	するため、人権費を確保し、適切						
_			、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)	取組説明						
	事業費の見 業務時間効	直し検討 率化のための	事務改善の検討 事務改善の検討 K維持又は現状の計画通り)							

事業名	田沼各地	也区公民館	<b>官活動事業</b>	実施計画事業or一般事業		般事業		該当なし			
. +	±+n			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし	
1. 基本作	部	教育部		予算中事業名		会計	<b>向几</b>	事業計画	出左帝	得いた	
旦当組織	課	生涯学習課		」	予算	款		尹未可四 新規or継続	単年度線 継続		
	係	田沼中央公		田沼各地区公民館活動事業	科目	項		市単独or国県補助	市単独		
	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等	171	目		義務or任意	任意的		
	基本目標		豊かな心を育み、学び合うまちづくり	ואין אין אין אואו	事業	開始年度	_	実施方法	直		
政策体系	政策		地域とともに学び育てるまちづくり	佐野市公民館条例	期間	終了年度		事業分類	施設維持		
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進	1227 1 2 2 4 2 1 7 1 7 1 7 1 7 1	7 7 31 - 3	11 T		チベババ	NCDX/IET/	ロ・エテホ	
(1)事業	美概要 		<b>画期間内)目標値</b> 1館)のにおいて実施する公民館活動に係	る消耗品の経費。							
(a) Et	_			(a) DEC							
(2)目的	j I			(3)目標値	34 / <del>L</del>	D.2	D.4	D.F.	DC	D.7	
目的				効果指標 田沼各地区公民館利用者数	単位	R3	R4	R5	R6	R7	
(本事業に				田泊台地区公民昭利用台致		8,000	8,000	8,500	9,000	9,000	
、 よって成し	田沼各地区	区公民館が地	域住民に学習の機械を提供すること。								
遂げたい											
状態)											
	I.				ı	I.		1			
<b>3. 前年</b> 原 (1)活動		舌動及び費用	3対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及し	事業費の抽	趣				
				活動指標	単位	R3	R4	R5			
			消耗品購入費用	千円	16	16	15				
					113	10	10	13			
活動実績											
R5年度に	// C & & > 7	*! \ <del></del> \ \ . \ . \ . \ . \ . \ . \ . \ . \ .	1 ** * * * * * * * * * * * * * * * * *								
テった主な活	・公氏館店	動に必要な社	紙類等の消耗品の購入を行った。	事業費計	千円	16	16	15			
動内容)											
				一般財源		16	16	15			
				特定財源(国·県·他)	千円						
				(うち受益者負担)	千円						
(3)活動	かによる効果 T			(4) 事業効果を説明する数			D.4	D.F.	↓選択して		
				効果指標の収集を表現している。	単位	R3	R4	R5	指標の性質 値が大きいほど良い		
効果説明	四:刀夕 拗下	7/11日台11名	官の利用者数は適切な運営により増加して	田沼地区公民館利用者数	人	7,072	8,049	0,419	個か人さいはこ及い	効果が上がった	
(定量及び	いる。		的利用有数は週切な建当により相加して								
定性)	V '0'										
/=\ <del></del>	n + 1 + 1 == ^ 1 =	n /4-2000	->				i.				
		果(自動判定		The state of the s				*** 00		İ	
	とR4の一般  効果が上が		費用の増減無し 1指標	※10万円以上の増減により判断			効果が上がった	効果 効果は変わらない	効果が下がった		
効果		おい指標数	0指標		費	費用は下がった	<i>X)</i> X <i>I</i> I <i>I</i> I	XJX16321757601	MARI I II JIC		
(R5とR4の 指標値増減)	効果が下が	った指標数 指標全体	0指標 <b>効果が上がった</b>		用	費用の増減無し	0				
(1) 令和		事業実施にお	ける反省点、環境変化や関係者からの意見 では、現場では、できるでは、できるできる。 では、できるでは、できるでは、できないできる。 できるできるできる。	等を踏まえた検討課題、費用対	対効果向	<u>] 上のための</u>	課題				
			、、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討	以組							
<ul><li>□ 事業費の見直し検討</li><li>□ 業務時間効率化のための事務改善の検討</li></ul>											
~	付に快刮手	+垻悪し(現	伏維持又は現状の計画通り)	1							

作成・更新日 20	)24年8月9日
-----------	----------

事業名	田沼各地	也区公民館	<b>常活動支援事業</b>	実施計画事業or一般事業	—;	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情	<b>美報</b> 部	教育部		<b>又</b> 笞巾吏 <b>类</b> 友		会計		事業計画	出左帝	得いた
	<u>마</u> 課	生涯学習課		予算中事業名	予算			尹未可四 新規or継続	単年度組織	
	係	田沼中央公		田沼各地区公民館活動支援事業		項	4		市単独	
	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的	的事業
政策体系	基本目標		豊かな心を育み、学び合うまちづくり			開始年度	S26	実施方法	直	
EXXIVITYIN	政策		地域とともに学び育てるまちづくり	佐野市公民館条例	期間	終了年度	_	事業分類	支援	事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進							
(1)事業	美概要		画期間内)目標値							
事業概要	田沼各地区	区公民館11	館の各種講座やイベント等公民館活動運	営に対しての交付金。						
(2)目的	5			(3)目標値	1					
日的				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的 (本事業に				佐野各地区公民館の利用者数	人	8,000	8,000	8,500	9,000	9,000
、 よって成し	地域住民の	学びの機会な	「確保されている。							
遂げたい 状態)										
1人思)										
		5動及び費用	対効果)説明	(2) 活動を設明する粉値ご	<i>5</i> ,₹57,1	事業毒の投	±19			
(1)活動	大領			(2)活動を説明する数値デ				DE		
			活動指標	単位	R3	R4	R5			
			講座等の開催回数	千円	13	32	50			
マシ ウルキ	動実績 5年度に 田沼各地区公民館11館の各運営組織が交付金を活用し講座、									
(			と化祭、世代間交流事業等を実施した。	事業費計	千円	1,144	1,144	1,144		
動内容)				2 112 121		,				
				一般財源	千円	1,144	1,144	1,144		
				特定財源(国・県・他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円					
(3) 任雨	かによる効果			(4)事業効果を説明する数	値デーク	か推移		•	↓ ↓選択して	エオハ
(3) /山玉	11CQ 0/11X			効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	
				田沼各地区公民館の利用者数	人	7,072	8,049	8,419	値が大きいほど良い	効果が上がった
効果説明	田沼各地区	区公民館11	館の利用者数は適切な運営により増加し							
(定量及び 定性)	ている。									
						1		<u> </u>		
		果(自動判定		1				41 ==		Ī
費用(R5	とR4の一般  効果が上が		費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断			効果が上がった	効果 効果は変わらない	**田代工代-+	
効果	効果は変わり	おい指標数	1指標 0指標	-	費	費用は下がった	効果が上かった	効果は変わらない	効果が下がった	
(R5とR4の 指標値増減)	効果が下が	った指標数	0指標		用	費用の増減無し	0			
32 ISAN E 2014)		指標全体	効果が上がった			費用が増加した				
4. 次年度	きに向けた検	討								
			ける反省点、環境変化や関係者からの意見	!等を踏まえた検討課題、費用対	効果向	」上のための	課題			
(2) 上詞	2反省点及で	/課題を踏まえ	また、令和6年度及び令和7年度の取組	取組説明	1					
П	事業の在り	方検討(座⊩	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)	4人が145元4万						
_			事務改善の検討							
	事業費の見		**							
	業務時間效	カ率化のための	事務改善の検討							
~	特に検討事	項無し(現物	犬維持又は現状の計画通り)							

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

作成•更新日 令和6年8月9日

事業名	草生地区	マ ハ 民 館 紀	掛管理事業	実施計画事業or一般事業	_t	股事業	市長小約	該当なし	総合獣略	該当なし
尹未乜	构工地区		助日任于未	施策横断的な取組との関連性			コンパクトシティ	該当なし		該当なし
L. 基本情					SDGS	一談当めり	コンハクトシティ	談当なし	スマートンティ	該当なし
L. 坐本!!	部	教育部		予算中事業名		会計	—船	事業計画	単年度	経り行し
旦当組織	課	生涯学習課		葛生地区公民館維持管理事	予算	<b></b>		新規or継続	継続	
=	係	葛生地区公		業		項	4	市単独or国県補助	市単独	
	体系コード	421		根拠法令、条例等	171	目	2	義務or任意	任意的	
	基本目標		豊かな心を育み、学び合うまちづくり	TOTAL IN ALITY	事業	開始年度	S5/	実施方法		<del>]                                    </del>
政策体系	政策		地域とともに学び育てるまちづくり	! 佐野市公民館条例		終了年度	334		施設維持	
	施策		生活を豊かにする生涯学習の推進	在到19200000000	المالك	心了十尺		尹未刀积	<b>川巴山又小庄</b> ]寸	<b>5</b> 仕尹未
<b>2. 事業概</b> (1)事業 事業概要	美概要	なび(基本計 公民館の維持	<b>画期間内)目標値</b> 管理。							
(2) Eb	i .			(2) 日煙値						
(2)目的	<u> </u>			(3)目標値 効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的					人	3,000	4,000		1	5,000
(本事業に	首件州(マル	1日命の利用	者が安全で快適に施設を利用できるよう	<u> </u>		3,000	4,000	5,000	5,000	3,000
よって成し		は持管理を行								
遂げたい	にて、万匹の文・シバ	はい 日本までい	<i>5</i> °						<u> </u>	
状態)										
<b>3.前年度</b> (1)活動		舌動及び費用	対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	事業費の推	辪移			
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
				施設管理委託契約	件	1	1	1		
舌動実績 R.5年度に	葛生地区公	3民館の維持	管理、休日、夜間の施設管理委託。			_				
テった主な活 動内容)				事業費計	千円	911	979	1,159	1	
201 3117				一般財源	千円	880	948	1,124		
				特定財源(国·県·他)	千円	31	31	35	1	
				(うち受益者負担)	千円	31	31	35		
(3)活重	かによる効果			(4) 事業効果を説明する数	/値データ	の推移			↓選択して	下さい
(3) /山玉	1000			効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の件質	R4とR5の比較
				葛生地区公民館利用者数	人	3,159	4,954		値が大きいほど良い	効果が上がった
効果説明	葛牛地区分	\民館を適切	に維持できていることにより、利用者数が増			5/255	.,			
(定量及び	加している。									
定性)										
/ - \ 弗口		11 / 白毛小豆	2)							
	とR4の一般	果(自動判定	貴用が増加した	** 1 0 万円以上の増減により判断				効果		I
	効果が上が		1指標	※10万円以上の垣順派により刊倒			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
効果	効果は変わり	うない指標数	0指標		費	費用は下がった	7937107 1217 370	7,3711105217907	7757175 1 13 510	
(R5とR4の 旨標値増減)	効果が下が	らた指標数	0指標		用	費用の増減無し				
日际[[2日/城]		指標全体	効果が上がった	J	713	費用が増加した	O			
(1)令和		 事業実施におり	ナる反省点、環境変化や関係者からの意見 )適切な修繕による維持、改修等の検討が。		対象果向	上のための	課題			
(2) 上詞	尼反省点及び	/課題を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組		•					
				取組説明						
□ 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) □ 事業効果を上げるための事務改善の検討 □ 事業費の見直し検討 □ 業務時間効率化のための事務改善の検討 □ 業務時間効率化のための事務改善の検討										などを行っ

作成, 面新口 今和6年8日0日

<b>手</b> 業石	曷王(F	アロックス アンス アンス アンス アンス アンス アンス アンス アンス アンス アン	)公民館維持管理事業		計画事業or一般事業		般事業	市長公約			該当なし
<b></b>	±+n			施策植	<b>黄断的な取組との関連性</b>	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
基本情	部	教育部			予算中事業名		会計	<u>\$</u>	事業計画	単年度	組り行.
当組織	課	タラル 生涯学習課	1	草生	(常盤・氷室) 公民館	予算			尹未可四 新規or継続		除り返し 事業
	係	葛生地区公			維持管理事業	科目		4	市単独or国県補助		<u></u> :事業
	体系コード	421		村	R拠法令、条例等			2	義務or任意	任意的	
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり			事業	開始年度	S46	実施方法		<del></del> 委託
<b>汝策体系</b>	政策		地域とともに学び育てるまちづくり	佐	野市公民館条例		終了年度			施設維持	
	施策		生活を豊かにする生涯学習の推進								
(1)事第	美概要		・ <b>画期間内)目標値</b> 地区公民館の維持管理。								
(a) Et	_			(2)							
(2)目的	J I			(3)	目標値	出生	D2	D.4	חר	D.C	D.7
目的				<b>哈</b> 泰州	効果指標 2区公民館利用者数	単位人	R3 3,000	R4 3,500	R5 4,000	R6 4,000	R7 4,000
本事業に		、民館と氷字	地区公民館の利用者が安全で快適に施		1区公民館利用者数	人	1,000	1,200			1,600
よって成し			記録の維持管理を行う。	小土心	WHILE LUNG LANGE		1,000	1,200	1,000	1,000	1,000
遂げたい 状態)	DX C13/13 C	C 000 71C 71C	30 A-7 A-7 A-7 A-7 A-7 A-7 A-7 A-7 A-7 A-7								
1人思)											
8. 前年原 (1)活動		<b>舌動及び費用</b>	3対効果)説明	(2)	活動を説明する数値デ				D.F.	]	
					活動指標	単位	R3	R4	R5		
				電気設	と備の点検(常盤)	回	7	7	7		
				浄化槽	の点検(常盤、氷室)		12	12	12		
括動実績 5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.				消防設			12	12	12		
R 5 年度に roた主な活	施設の維持	管理のための	D点検、機器の保守。		事業費計	千円	2,714	2,928	3,275		
動内容)					一般財源		2,687	2,900	-		
				H=	排定財源(国·県·他)	千円	27	28	13		
				15							
					(うち受益者負担)	千円	27	28	13		
(3)活重	かによる効果			(4)	事業効果を説明する数	値デーク	の推移			↓選択して	下さい
					効果指標	単位	R3	R4	R5		R4とR5の比較
				常盤地	区公民館利用者数	人	3,159	3,919	4,428	値が大きいほど良い	効果が上がった
効果説明 (定量及び	常盤地区么	は民館と氷室	地区公民館を適切に維持できていることに	氷室地	区公民館利用者数	人	1,098	1,238	1,913	値が大きいほど良い	効果が上がった
定量及0	より、利用者	<b>香数が増加し</b>	ている。								
•											
(5)費用	月対効果結果	果(自動判定	È)								
費用(R5	とR4の一般		費用が増加した	<b>%10</b> 7	5円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上が		2指標		i		<b>悪</b> 四(+工+* +	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
(R5とR4の	効果は変わり効果が下が		0指標 0指標			費	費用は下がった				
旨標値増減)	77371073 1 73	指標全体				用	費用が増加した	0			
1. 次年度	きに向けた検				まえた検討課題、費用対			- <b>m</b> .o.t			

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

V	事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)	Eり方検討(廃	ど)
П	事業効果を上げるための事務改善の検討	果を上げるため	

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し (現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

利用者が安全、安心、安全に公民館を利用できるように、施設の適切な修繕などを行い、電気 料の高騰を踏まえ、施設の維持管理、運営を行っていく。また、耐震性能を満たしていない常盤 地区公民館に関し、移転等の対応を行う。

作成·更新日 令和6年8月9日

事業名	葛生地区	区公民館運	<b>屋営事業</b>	実施計画事業or一般事業		般事業	市長公約	該当なし		該当なし	
. +	-+n			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし	
L. 基本信	<b>強</b> 部	教育部		予算中事業名		会計		事業計画	単年度	給いた!	
	<u>- IP</u>	生涯学習課			予算	款		新規or継続	継続		
	係	葛生地区公		葛生地区公民館運営事業		項	4	市単独or国県補助	市単独		
	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的	的事業	
政策体系	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり		事業	開始年度	H17	実施方法	直	営	
	政策		地域とともに学び育てるまちづくり	佐野市公民館条例	期間	終了年度	Ī	事業分類	施設維持	管理事業	
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進								
(1)事業	概要		<b>画期間内)目標値</b> 年度職員の人件費。								
(2)目的	1			(3)目標値							
(2) 🗠	J			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7	
目的				葛生地区公民館利用者数	人	3,000		5,000	5,000	5,000	
(本事業に	# # # # # # # # # # # # # # # # # # # #	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	左 <sup>中</sup> 1000日 0 1 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	9± 5=220a117/1313X		3,555	.,,,,,	3,000	3,000	3,000	
よって成し 遂げたい	曷生地区2	は民間の会計	年度職員の人件費。								
状態)											
ŕ											
· **/F#	まの安健 /2	こチレファッボ ロ	1++++ CO								
<b>3. 削牛尽</b> (1)活動		5動及ひ賀用	]対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	_ <i>_5</i> 7571	重業毒の物	<b>#</b> 44				
(1)/白野	天棋							D.F.	Ī		
				活動指標	単位	R3	R4	R5			
				サークル登録団体のベ利用件数	件	204	262	282			
舌動実績 R5年度に デった主な活 動内容)	<del>=</del> + 11 = 7										
		は氏郎の用即	、教養講座の開催、サークル活動支援の								
	人什貝。			事業費計	千円	4,892	4,858	5,344			
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				一般財源	千円	4,879	4,842	5,317			
				特定財源(国·県·他)	千円	13	16	27			
				(うち受益者負担)	千円						
(3)活動	かによる効果			(4) 事業効果を説明する数	値データ	の推移			↓選択して	下さい	
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較	
効果説明				葛生地区公民館利用者数	人	3,335	4,954	5,569	値が大きいほど良い	効果が上がった	
が未就の (定量及び		〉民館を適切	に運営していることにより、利用者数が増加								
定性)	している。										
		<b>艮(自動判定</b>		1		i					
	とR4の一般 効果が上が		費用が増加した 1指標	※10万円以上の増減により判断			**************************************	効果 効果は変わらない	***********		
	効果は変わり		0指標		費	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった		
(R5とR4の	効果が下が	った指標数	0指標		用用	費用の増減無し					
旨標値増減)		指標全体	効果が上がった		/1)	費用が増加した	$\cup$				
(1)令和		写業実施にお	ける反省点、環境変化や関係者からの意見 べうえで、必要な事業費なので、今後も継続		<u>対果向</u>	)上のための	課題				
(2)上記	見る	が課題を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組	取組説明							
	事業効果を 事業費の見 業務時間效	上げるための !直し検討 か率化のための	は、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討 の事務改善の検討 け維持又は現状の計画通り)	- MARTINE, VI	ı						

☑ 特に検討事項無し (現状維持又は現状の計画通り)

作成·更新日 令和6年8月9日

事業名	草生 (岩	<b>治般.</b> 沙安	)公民館運営事業	実施計画事業or一般事業		 般事業	市長小約	該当なし	松全╫啦	該当なし
尹禾石		F盆·小主	)公氏矩座占手来	美心計画争乗の「一般争集   施策横断的な取組との関連性			コンパクトシティ	該当なし		該当なし
L. 基本情	<b>青報</b>			地外領型は多球型での対産は	3003	数量のグ	10////074	政当なり	A ( 1/2)/1	欧コルリ
	部	教育部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度	繰り返し
旦当組織	課	生涯学習課	!	葛生(常盤·氷室)公民館		款	10	新規or継続	継続	
	係	葛生地区公		運営事業	科目	項	4	市単独or国県補助	市単独	
	体系コード	421		根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的	
攺策体系	基本目標		豊かな心を育み、学び合うまちづくり			開始年度	H17	実施方法	直	
	政策		地域とともに学び育てるまちづくり	佐野市公民館条例	期間	終了年度	_	事業分類	施設維持	管埋事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進		]					
<b>2. 事業</b> 概 (1)事業		とび(基本計	画期間内)目標値							
事業概要	常盤地区么	〉民館と氷室:	地区公民館の会計年度任用職員の人件費	<b>5</b> .						
(2)目的	<del></del>			 (3)目標値						
(2) 🖽	צי			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				常盤地区公民館利用者数	人	3,000		4,000	4,000	4,000
(本事業に	常盤地区么	は民館と氷室	地区公民館の会計年度任用職員の人件	氷室地区公民館利用者数	人	1,000	1,200	1,600	1,600	1,600
よって成し 遂げたい	費。						-		-	-
状態)										
<b>3.前年度</b> (1)活動		舌動及び費用	1対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	事業費の推	<b>É</b> 移			
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
				サークル登録団体のベ利用件数(常盤)	件	135	194	181		
活動実績				サークル登録団体のベ利用件数(氷室)	件	48	65	66		
	44 60 U. C. A. C. A. A. A. A. A. C. A. C. A. C. A. C. A. A. A. A. A. C.									
		動支援の人件	費。	事業費計	千円	7,927	5,536	6,032		
動内容)				—————————————————————————————————————	千円	7,906	5,517	6,001		
				特定財源(国・県・他)	千円	21	19	31		
				(うち受益者負担)	千円					
(3)活動	・ かによる効果			・ (4)事業効果を説明する数	7値データ	の推移			↓選択して	下さい
(3) /山玉	11CQ 9/1/X			効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
				常盤地区公民館利用者数	人	3,159			値が大きいほど良い	効果が上がった
効果説明	常盤地区么	は民館と氷室	地区公民館を適切に運営していることによ	氷室地区公民館利用者数	人	1,098	-	-	値が大きいほど良い	効果が上がった
(定量及び 定性)	り、利用者	数が増加して	いる。							
ÆIT)										
(5)費用	月対効果結果	果(自動判定	<b>E</b> )							
費用(R5	とR4の一般	財源増減)	費用が増加した	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上が		2指標			悪四は <u>下</u> お +	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
(R5とR4の	効果は変わり	らない指標数_ らた指標数	0指標 0指標		費	費用は下がった				
旨標値増減)	773=1476 1 76	指標全体		j	用	費用が増加した	0			
(1)令和		事業実施におり	ける反省点、環境変化や関係者からの意見 を適切に運営していくうえで、必要な事業費		_	上のための	課題			
. ,			えた、令和6年度及び令和7年度の取組	取組説明						
	事業効果を 事業費の見	上げるための 直し検討	<ul><li>、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)</li><li>事務改善の検討</li><li>の事務改善の検討</li></ul>							

事業名	生涯学習	<b>推進協議</b>	義会運営事業	実施計画事業or一般事業	—;	投事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情		教育部		予算中事業名		会計		事業計画	単年度	細いた
旦当組織		<u>教育の</u> 生涯学習課			予算	款		尹未可四 新規or継続	継続	
		生涯学習係		生涯学習推進協議会運営事業	科目	項	4	市単独or国県補助	市単独	
	体系コード	421		根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的	
ひとして	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり	<b>化取去化液类取换体的等</b> 人	事業	開始年度	H2	実施方法	直	
政策体系	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり	佐野市生涯学習推進協議会 条例		終了年度	_	事業分類	審議会等	運営事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進	宋17月						
(1)事業	美概要		画期間内)目標値							
事業概要	市長の諮問	に応し、生涯	学習の推進に関し必要な事項を調査・審請	義する他、市民の字習ニー人や説	<b>思等に</b>	関する提言	を行う番譲	会等の連宮	i.	
(2)目的	5			(3)目標値						
				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				学習環境が整っていると感じる市民の割合	%	55	55	55	55	55
(本事業によって成し			īの推進により、生涯にわたって学び続け、自							
遂げたい	己を高めてい	いくことができる	る生涯学習環境の充実を図る。						<u> </u>	
状態)										
<b>3.前年度</b> (1)活重		<b>動及び費用</b>	<b>引対効果)説明</b>	(2)活動を説明する数値デ	ータ及ひ	事業費の推	<b></b> 養移			
(=, ,==				活動指標	単位	R3	R4	R5		
	「笠っ切仕	B 士	習推進基本計画中期計画」をもとに、佐野	生涯学習推進協議会開催数		3	2	1		
活動実績	市の生涯学習の課題や現状を把握した。 推進協議会:令和5年9月27日開催し、成果指標の報告を行っ た									
(R 5 年度に テった主な活				古光串計	τm	200	100	01	1	
動内容)		::成果指標	この達成状況実績を報告してもらい、現状を	事業費計	千円	296	190			
	把握した。	( 1 /2/07/03/1/2)		一般財源	千円	296	190	91		
	10,120,00			特定財源(国·県·他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円					
(3)活重	たよる効果			(4) 事業効果を説明する数					↓選択して	
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	
効果説明		» ==		学習環境が整っていると感じる市民の割合	%	40	41	44	値が大きいほど良い	効果が上がった
(定量及び		5か、子省境	境が整っていると感じる市民の割合が増加							
定性)	した。									
	対効果結果			1						1
費用(R5	とR4の一般原		費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断			井田れ トゼーキ	効果	**田代工代-**	ļ
効果	効果が上がか 効果は変わら		1指標 0指標		費	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
(R5とR4の 指標値増減)	効果が下が	った指標数	0指標		用用	費用の増減無し	0			
旧标他培减)		指標全体	効果が上がった		/13	費用が増加した				j
	<b>をに向けた検</b> 3 5 年度の事		ける反省点、環境変化や関係者からの意見	等を踏まえた検討課題、費用対	対 果向	」上のための	課題			
(2)上訂	記反省点及び	課題を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組							
				取組説明						
	事業効果を 事業費の見 業務時間効	上げるための 直し検討 ]率化のための	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討 の事務改善の検討							
<b>✓</b>	特に検討事	坦無し (現	<b>伏維持又は現状の計画通り)</b>	I						

4 豊かな心を育み、学び合うまちづくり

生活を豊かにする生涯学習の推進

2 地域とともに学び育てるまちづくり

作成·更新日 2024年8月9日

直営

啓発事業

H2 実施方法

事業分類

事業名	生涯学習	3情報収集	·発信事業		実施計画事業or一般事業	—я́	股事業	市長公約	1-①	総合戦略	該当なし
					施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当あり
1. 基本情	青報										
	部	教育部			予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度組	繰り返し
担当組織	課	生涯学習課			1 生活之名信赖以集•杂信事至 1	予算	款	10	新規or継続	継続	事業
	係	生涯学習係				科目	項	4	市単独or国県補助	市単独	事業
	体系コード	421		名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意的	的事業

#### 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

政策体系

基本目標

政策

施策

事業概要 広範囲にわたる多様な生涯学習情報を収集し、市民に発信する。

(2)目的

(3)目標値

目的 (本事業に よって成し 遂げたい 状態)

より多くの学習情報や学習機会の充実を図ることにより、生涯学習への興味・関心を高め、施設の利用、講座への参加を促進する。

	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
	学習メニュー・講座メニュー数	件	720	720	720	720	720
\	講座受講者数	人	27,000	27,000	27,000	27,000	27,000

開始年度

終了年度

期間

#### 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

		活動指標	単位	R3	R4	R5
		「オープン」掲載回数		1	1	1
	広報さのへの特集記事「オープン」の掲載(3月号)	オープン掲載広報発行数	部	45,900	45,900	46,200
活動実績   生涯学習メニューパンフ   (R5年度に   庁内・関連体部等の生	生涯学習メニューパンフレットの発行(4月、10月) 庁内・関連施設等の生涯学習情報を収集し、その情報を特集記事	メニューパンフレット発行数	部	1,050	1,050	1,100
行った主な活動内容)		事業費計	千円	61	103	64
到(2017年)	することにより、市民へ提供した。	一般財源	千円	61	103	64
		特定財源(国·県·他)	千円	0	0	0
		(うち受益者負担)	千円	0	0	0

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び 定性)

学習メニュー・講座メニュー数及び講座受講者数がともに増加した。 また、生涯学習メニューパンフレットの需要が高まったため、発行数も 増加した。

	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
	学習メニュー・講座メニュー数	件	427	560	622	値が大きいほど良い	効果が上がった
	講座受講者数	人	7,609	17,275	17,886	値が大きいほど良い	効果が上がった
1							

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用の増減無し								
法田	効果が上がった指標数	2指標								
	効果は変わらない指標数	0指標								
	効果が下がった指標数	0指標								
指標値増減)	指標全体	効果が上がった								

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し	0		
用	費用が増加した			

#### 4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

公民館等の生涯学習施設との情報交換を積極的に行い、より多くの生涯学習情報を収集する。また、効果的な情報発信を行うため、メニューパンフレットの配布先を増やすことや、近隣市や他課のイベント開催時等で情報を発信するなどの工夫が必要である。

#### (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

	事業の在り方検討	(廃止、休止	再編成.	受益者負担の見直しなど)	
--	----------	--------	------	--------------	--

☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

業務時間効率化のための事務改善の検討

─ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

紙媒体やホームページを相互利用することにより、効果的な情報収集を行うとともに、発信につい ては、わかりやすく繰り返し情報を発信する。また、市民の生涯学習活動の紹介などを充実させ ることにより、生涯学習情報への関心を高める工夫をする。 4 豊かな心を育み、学び合うまちづくり

地域とともに学び育てるまちづくり

生活を豊かにする生涯学習の推進

作成·更新日 2024年8月9日

直営

参画事業

H6 実施方法

事業分類

事業名	両毛広場	或生涯学習	ヨネットワーク推	進事業	実施計画事業or一般事業	—я́	股事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
					施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情	青報										
	部	教育部			予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度網	繰り返し
担当組織	課	生涯学習課			両毛広域生涯学習ネットワー	予算	款	10	新規or継続	継続	事業
	係	生涯学習係			ク推進事業	科目	項	4	市単独or国県補助	市単独	事業
	体系コード	421	:	名称	根拠法令、条例等		田	1	義務or任意	任意的	<b>り事業</b>

#### 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

基本目標

政策

施策

事業概要

政策体系

両毛6市(足利・佐野・桐生・太田・館林・みどり)の生涯学習・社会教育主管課が、連携・協働により両毛地域での広域生涯学習ネットワークの構築を図る協議会への参画。

(2)目的

\_\_\_\_\_(3)目標値

目的 (本事業に よって成し 遂げたい 状態)

会員(両毛6市生涯学習担当課職員)、各市公民館職員の人 的ネットワークが構築され、各市の市民が市外の生涯学習情報を得 ることができる。

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
生涯学習のホームページへのアクセス数	件	81,000	69,000	73,000	77,000	81,000
学習の環境が整っていると感じる市民の割合	%	55	55	55	55	55

開始年度

終了年度

期間

#### 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

		両毛6市コーナー
\	市:負担金40千円の支出、担当者会議等への出席、両毛コーナーパネルの展示等。	「ASKOTM」配
	協議会:生涯学習情報誌「ASKOTM」の発行(隔年)、イベント	会議開催回数
	情報誌の作成・発行(毎年)、PR事業としてデジタルスタンプラリー	事業寶
到(2)	の企画。各市イベント等にて両毛コーナー出展。総会(6月)、担当 者会議(全4回)の開催等。	
		特定財源
		(ったき

活動指標	単位	R3	R4	R5
両毛6市コーナー出展回数	回	2	6	6
「ASKOTM」配布部数	部	0	1,200	0
会議開催回数		6	4	4
事業費計	千円	40	40	40
一般財源	千円	40	40	40
特定財源(国·県·他)	千円	0	0	0
(うち受益者負担)	千円	0	0	0

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び 定性)

両毛6市の生涯学習担当課のネットワークを通じて、広域的な生涯 学習活動の支援を行うことができた結果、学習の環境が整っていると 感じる市民の割合が増加した。

	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
Ε	生涯学習のホームページへのアクセス数	件	34,659	32,677	33,184	値が大きいほど良い	効果が上がった
- -	学習の環境が整っていると感じる市民の割合	%	40	41	44	値が大きいほど良い	効果が上がった
_							

(5)費用対効果結果(自動判定)

(-, , , , , ,	37 377371414714 (11431370	-,
費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用の増減無し
か田	効果が上がった指標数	2指標
	効果は変わらない指標数	0指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標值増減)	指標全体	効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し	0		
用	費用が増加した			

#### 4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

さらに市民に開かれた協議会とするため、より効果の高いPR事業について協議を行い、令和6年度からはデジタルスタンプラリーを開催する予定である。

П	事業の在り方検討	(廃止、休止、再編成、受益者負担)	旦の見直しなど)

☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討□ 事業費の見直し検討

業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

令和6年度から実施予定のデジタルスタンプラリーについて広報やSNS等を利用して市民へ周知し、より多くの人に参加してもらうことで市民に開かれた協議会を目指す。

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

─ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

□ 事業費の見直し検討

<b>士</b>	の振り	)返りシート(令相 5 年度	美施分)			作	成·更新日	2024	年8月9日			
<b>事業名</b>	全国生涯	 E学習市町村協議会参画事業	実施計画事業or一般事業	-	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし			
			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし			
. 基本情		**************************************	7/5-1-1-W A		A = 1	Án.	±#=1-	\\\ \— <del>  -</del>	/BIO)E1			
コンレクロクか		教育部	予算中事業名	会計     会 予算			事業計画	単年度				
当組織	課 係	生涯学習課	全国生涯学習市町村協議会	予昇 科目		10	新規or継続 市単独or国県補助		事業 中事業			
	体系コード	<u>生涯学習係</u> 421 名称	参画事業 根拠法令、条例等	竹田	目		義務or任意	任意的				
	基本目標	4 豊かな心を育み、学び合うまちづくり	似処仏八木門子	車業	開始年度	_	実施方法		<del>プアネ</del> 営			
文策体系	政策	2 地域とともに学び育てるまちづくり	_		終了年度		事業分類		<u>口</u> 事業			
	施策	1 生活を豊かにする生涯学習の推進		741101	心了十尺		尹未刀叔	<b>多四</b>	尹未			
<b>2. 事業</b> 概 (1)事業	概要と目的及	び(基本計画期間内)目標値	打材の中で生涯学習を終会行政	1	야ラ 地域を	必げて住日	こが主公の[	生涯学翌=				
<sup>事</sup> 業概要	生涯学習社会の実現を目指す市長村長が一堂に会し、各々の市町村の中で生涯学習を総合行政としてとらえ、地域を挙げて住民が主役の「生涯学習まちづくり」 を推進するとともに、関係機関・団体等と協力しながら、会員相互の連携を深め、情報交換・政策研究等を行い、新時代に向けたよりよいまちづくりを推進する協議会への参画。											
(2)目的	<b>ቫ</b>		(3)目標値									
			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7			
目的		る生涯学習の政策研究及び情報交換を行い、総合的	生涯学習のホームページへのアクセス数	件	81,000			77,000	81,000			
(本事業に よって成し		の施策の推進を図る。また、協議会に加盟する市町村	学習の環境が整っていると感じる市民の割合	%	55	55	55	55	55			
遂げたい	の先進的事	例などの学習機会や情報交流機会が市民に提供され										
状態)	る。											
<b>3. 前年</b> 度 (1)活動		<b>動及び費用対効果)説明</b>	(2)活動を説明する数値デ活動指標	-9及U 単位	事業費の指 R3	<u>ŧ移</u>	R5	]				
			—————————————————————————————————————		0	1	1					
舌動実績 R5年度に		涯学習市町村協議会に負担金の支出。 日(木) 役員会及び総会に出席。	Z IIX T LINI L IXX									
うった主な活		三1回の総会、役員会、研修会、広報活動等を実施。生	事業費計	千円	30	34	34					
動内容)		する情報収集と会員市への情報提供、国への要望活	一般財源	千円	30	34	34					
	動等。 											
			特定財源(国・県・他)	千円								
			(うち受益者負担)	千円								
(3)活重	かによる効果		(4)事業効果を説明する数	値データ	タの推移			↓選択して	下さい			
			効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較			
-t cm = x n n			生涯学習のホームページへのアクセス数	件	34,659	32,677	33,184	値が大きいほど良い	効果が上がった			
効果説明 (定量及び		総会に出席し、加盟市町村との交流や情報交換を行	学習の環境が整っていると感じる市民の割合	%	40	41	44	値が大きいほど良い	効果が上がった			
定性)	い、本市での	)事業や取り組みについて情報提供を行った。										
	とR4の一般		※10万円以上の増減により判断				効果					
効果	効果が上が 効果は変わら			弗	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった				
(R5とR4の	効果が下が	った指標数 0指標		費用	費用の増減無し	0						
旨標値増減)		指標全体の対果が上がった	]	用	費用が増加した				]			
	<b>度に向けた検</b> [] 5 年度の事	<b>討</b> 『業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見	見等を踏まえた検討課題、費用対	対果向	]上のための	課題						
本市の事業	について、会	長市や総会等を通じて周知に努めていく。										
(2) 上訂	記反省点及び	『課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組										
			取組説明									
	事業の在り	方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)										

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

作成·更新日 2024年8月9日

	- 3/2( )		1 (1-14-0-17)	., (,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,							
事業名	生涯学習	図に関する	職員等研修会事業	実施計画事業or一般事業		般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当あり	
L. 基本情		*/- プラウロ		又 <b>饮</b>		<b>∧=</b> 1	ÁΠ.	<b>+</b> ₩=1-	¥ <del>/-                                      </del>	WANT.	
	部 課	教育部 生涯学習課		予算中事業名	予算	会計		事業計画 新規or継続	単年度組織		
□当組織	係	生涯学習係		生涯学習に関する職員等研修会事業		項	4	市単独or国県補助	市単独		
	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等	170	目	1	義務or任意	任意的		
	基本目標		豊かな心を育み、学び合うまちづくり	中で スペス(対 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	車業	開始年度	HR	実施方法	直		
政策体系	政策		地域とともに学び育てるまちづくり	_		終了年度	-	事業分類			
	施策		生活を豊かにする生涯学習の推進		7431=3	小( ) 十/又		子术刀从	الله النازة	子奶子来	
(1)事業	美概要		画期間内)目標値	と割り込事性について晩号竿への	石井小冬を分	<del>-</del>					
<b>事業概要</b>	出要 生涯学習を全市全庁的なものとして推進するため、自治体としての役割・必要性について職員等への研修を行う。 各種研修機関の研修会に参加し、情報の収集・資質向上を図る。										
(2)目的				(3)目標値							
				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7	
目的				研修に参加した職員の数/対象職員	%	100	100	100	100	100	
(本事業に	職員として、	生涯学習を含	全市、全庁的なものとして取り組むための理								
よって成し 遂げたい	解を深める。										
状態)											
<b>3.前年度</b> (1)活動		舌動及び費用	対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	事業費の推	餧				
				活動指標	単位	R3	R4	R5			
				生涯学習に関する研修会への参加		1	3				
	①生涯学習	3推准初任者	研修会参加(4回中1回はオンライン実		Ш	4	3	4	-		
工私中生	施)			生涯学習について職員等の研修会開催		_	1	1			
舌動実績 R5年度に		習に関する職員	員等研修会								
テった主な活	令和5年11月2日 佐野市役所大会議室AB 40名 令和6年3月2日 佐野市文化会館での生涯楽習フォーラムに ついては対象外			事業費計	千円	0	20	20			
動内容)				2 112 121		_			1		
				一般財源	千円	0	20	20			
				特定財源(国·県·他)	千円	0	0	0			
				(うち受益者負担)	千円	0	0	0			
(2) 75	l (= 1 = ±1 m			/ 4 )	/ <del>+</del> - " 4	+4.767				- <del></del>	
(3) 沽事	かによる効果			(4)事業効果を説明する数			D.4	DE	↓選択して		
				効果指標 研修に参加した職員の数/対象職員	単位 %	R3	R4 75.5	R5	指標の性質 値が大きいほど良い	R4とR5の比較 効果が上がった	
効果説明	研修に参加	11.た職員数カ	「増加した。また、研修への参加により生涯	10円形に参加した1100円の数/ 対象1100円	70		/3.3	70.9	MIN NEVIACION	効果が上がりた	
(定量及び			めることができた。								
定性)	, Hiero	C+7-1/1+ C//K	south ceres								
/ - \ 弗田	コナナ六九 日1 9 生日	11 / 白新如豆	· )								
	とR4の一般	果(自動判定 財源増減)	費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果			
	効果が上が		1指標	※10万円以上の垣/域により刊倒			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった		
効果 (R5とR4の	効果は変わり	うない指標数	0指標		費	費用は下がった					
(R3CR40) 指標値増減)	効果が下が	いた指標数 指標全体	0指標 <b>効果が上がった</b>		用	費用の増減無し	0				
		10以工 17	が大い 土口 グル	<u></u>		70 m					
	<b>をに向けた検</b> 35年度の事		ナる反省点、環境変化や関係者からの意見	等を踏まえた検討課題、費用対	効果向	上のための	課題				
一人でも多	くの職員に研	T修に参加して	もらえるよう各課に働きかけることで、意識の	)向上を図る。							
(2) 上詞	己反省点及び	グ課題を踏まえ	えた、令和6年度及び令和7年度の取組	F 40-V0-	1						
	== w - · ·			取組説明							
_			、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討								

現状に即した講師・テーマの選定を行い、職員の生涯学習への理解を深めていく。

1— —	· / J/I/ /		ν Ι (Ι) ΙΙ Ο <del>Τ</del> ΙΣ							
事業名	各地区分	く民館トイ	レ洋式化等事業	実施計画事業or一般事業	—£	投事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
L. 基本情		教育部		<b>又</b> 笞巾吏 <b>类</b> 夕		会計		車無計型	出在日	<del>-</del> π 7 .
	課	教育部 生涯学習課		予算中事業名	予算	款		事業計画 新規or継続	新規	度のみ 事業
	係			各地区公民館トイレ洋式化等事業		項	4	市単独or国県補助	市単独	
	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的	
攺策体系	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり		事業	開始年度	R5	実施方法	直	<u></u> 営
以來仲亦	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり	佐野市公民館条例	期間	終了年度	R7	事業分類	施設等數	<b>MM</b>
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進							
(1)事業	美概要		画期間内)目標値 を高めるため、各地区公民館のトイレ洋式イ	と等工事を行う。						
(2) E#	-			/2) DÆ/#						
(2)目的	<u> </u>			(3)目標値 効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				佐野各地区公民館の利用者数	人	80,000		100,000		
(本事業に	安全で快適	が状態で公	民館を利用して頂くことで、利用者数を増や			30,000	30,000	100,000	110,000	113,000
よって成し	す。									
遂げたい 状態)										
•										
<b>3.前年度</b> (1)活動		<b>舌動及び費用</b>	3対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	事業費の推	<b>‡移</b>			
(=, ,12				活動指標	単位	R3	R4	R5		
	. 植野地区	八尺位				_				
	・植野地区:		女6)多目的トイレ改修	改修工事に要した費用	千円	0	0	29,282		
活動実績	・吾妻地区									
R5年度に テった主な活動内容)			女3)多目的トイレ改修							
	ホールから	機材器具置	き場への出入り口設置	事業費計	千円	0	0	29,282		
	新たな湯沸しスペースの設置(玄関脇冷水器部分)			一般財源		0	0	182		
	・赤見地区					0	0			
	トイレ洋式化(男3 女4)多目的トイレ改修			特定財源(国・県・他)	千円			29,100		
				(うち受益者負担)	千円					
(3)活重	かによる効果			(4) 事業効果を説明する数値データの推移 ↓選択して下さい						
( , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	3,-0,0,,,,,,,,,			効果指標	単位	R3	R4	R5	•	R4とR5の比較
				佐野各地区公民館の利用者数	人	81,208	100,688	110,371	値が大きいほど良い	効果が上がった
効果説明 (定量及び			とにより、佐野各地区公民館の利用者数が							
定性)	増加している	3.								
	<u> </u>					<u> </u>				
		<b>果(自動判定</b>		1				±1.00		İ
	とR4の一般 効果が上が		費用が増加した 1指標	※10万円以上の増減により判断			効果が上がった	効果 効果は変わらない	効果が下がった	
効果	効果は変わら	るない指標数	0指標		費	費用は下がった	MACA ELI SIC	XXX (6.52.17.2/6V)	<i>MJ</i>	
(R5とR4の 指標値増減)	効果が下が	うた指標数 指標全体	<u>○ 0指標</u> <b>効果が上がった</b>		用	費用の増減無し				
	<b>をに向けた検</b> 15年度の事	:ad	がスペンエックに ける反省点、環境変化や関係者からの意見	等を踏まえた検討課題、費用対	対果向		課題			
予定した3:	公民館のトー	(レ洋式化等	改修工事を行い、利用者の利便性を高めら	れた。 						
(2)上記	記反省点及び	が課題を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組	取組説明	]					
	事業効果を 事業費の見 業務時間效	上げるための !直し検討 か率化のための	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討 D事務改善の検討 大維持又は現状の計画通り)	事業終了						

作成·更新日

2024年8月9日

車坐夕	女冊[7/	<b>入</b> 足給灾部	<b>服設備等改修事業</b>	実施計画車業な一処車業	I _	<b>卯車<del>ツ</del></b>	古巨八約	該当なし	松全學的	≣女 <b>火</b> +Ⅵ
尹禾石	台地区2	公氏纸工部	は帰守以修孝未	実施計画事業or一般事業 施策横断的な取組との関連性		般事業 該当あり	ロ技公が		スマートシティ	該当なし
1. 基本情	青報			地外領域であればこの対定に	5003	政二のグ	22//01/27/1	欧二次U	X 12)1	BX
	部	教育部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年原	 度のみ
担当組織	課	生涯学習課		各地区公民館空調設備等改修事業	予算	款	10	新規or継続	新規	事業
	係	生涯学習係		<b>合地区公民</b> 据至調設佣等以修事業	科目	項	4	市単独or国県補助	市単独	虫事業
	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的	り事業 ニュ
政策体系	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり		事業	開始年度	R5	実施方法	直	営
以外件示	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり	佐野市公民館条例	期間	終了年度	R7	事業分類	施設等數	&備事業
<b>2.事業</b> 机 (1)事業			生活を豊かにする生涯学習の推進画期間内)目標値							
事業概要	老朽化によ	り代替え部品	がなく、修理できない各地区公民館の空調	設備等改修工事を行い、公民館	館利用	皆の利便性	を高める。			
(2)目的	勺			(3)目標値						
				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				生涯学習施設の利用者数	千人	1,075	1,010	1,010	1,010	1,010
(本事業によって成し	安全で快適	題な状態で公民	民館を利用して頂くことで、利用者数を増や							
よっ C放し 遂げたい	す。									
状態)										
<b>3. 前年</b> 原 (1)活動		舌動及び費用	対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	事業費の推	<b></b> 達移			
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
				改修工事に要した費用	千円	0	0	6,050		
	·犬伏地区	公民館及び坂	<b>灶地区公民館</b>	(大学工学に交びた実/1)	117		0	0,000		
活動実績	空調設備	更新のための	コスト比較及び実施設計を行う。							
(R5年度に	++ /l -1- /l -1 - /-									
、 行った主な活	空調機器	工事、空調工	事、発生材運搬、	事業費計	千円	0	0	6,050		
動内容)	天力セ42	方向業務用エ	アコン(室外機1台・室内機2台)	一般財源		0	0	150		
	消防用設	增等交換修約	善			U	U			
				特定財源(国·県·他)	千円			5,900		
				(うち受益者負担)	千円					
(2) 江重				(4) 東紫熱田太説四寸2巻	(古二)	50+HIQ			\c2+m  =	
(3) 冶里	かによる効果 T			(4)事業効果を説明する数 効果指標	単位	70)推修 R3	R4	R5	→ 選択して 指標の性質	
				生涯学習施設の利用者数	千人	458	635			効果が上がった
効果説明	学習の場が		とにより、生涯学習施設の利用者数が増加	工作于自地改约作所自然	17	730	033	743	may y Co-well o	MX11
(定量及び	している。	IE MICH MCC								
定性)	0 00									
(5) 弗5	日分が田丝	果(自動判定								<del></del>
, - ,	BNXXX未記 とR4の一般		費用が増加した	** 1 0 万円以上の増減により判断				効果		I
		の 応指標数	1指標	ハ・エ・ファンコック・エッジャロル州にみソナリロ			効果が上がった		効果が下がった	
効果 (R5とR4の	効果は変わり	らない指標数	0指標		費	費用は下がった				
指標値増減)	効果が下が	った指標数 指標全体	<u>0指標</u> <b>効果が上がった</b>		用	費用の増減無し	$\overline{}$			!
		1日7示土 円	かれる エル ブに	•		SCHIII PEI/IIUIC				1
	<b>度に向けた検</b> [] 5 年度の		ける反省点、環境変化や関係者からの意見	等を踏まえた検討課題、費用対	物果后	1 トのための	課題			
. , 191										
予定した3	公民館の空	調設備等改修	修工事及び設計を行い、利用者の利便性を	で高められた。						
(2)上記	プログロス でんしょう こうしょう こうしょ こうしょ こうしょ こうしょ こうしょ こうしょ	び課題を踏まえ	また、令和6年度及び令和7年度の取組	₽⊷◊□≕₩□□	1					
	車業のたり	古烩哥 /枣+	<b>化比 市短式 英女老色担心思考! 42.17</b>	取組説明	<u> </u>					
	事業効果を 事業費の見 業務時間效	を上げるための! 見直し検討 効率化のための	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討 事務改善の検討	事業終了						
	特に検討事	耳頭無し (現物	犬維持又は現状の計画通り)							

事業名	各地区分	\民館PCI	3廃棄物処理事業	実施計画事業or一般事業	— <u>;</u>	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情		<b>松</b> 本 如		<b>又</b> 笞山吏 <b>兴</b> 力		∆≣∔		事業計画	出在日	<b>主の</b> フ・
	部課	教育部 生涯学習課		予算中事業名	予算	会計款		尹未司 四 新規or継続	単年原新規	
	係	生涯学習係		各地区公民館PCB廃棄物処理事業		項		市単独or国県補助	市単独	
	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的	
たなける	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり	京玄伽の加田フィジませに明	事業	開始年度	R5	実施方法	直	営
政策体系	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり	廃棄物の処理及び清掃に関 する法律	期間	終了年度	R5	事業分類	施設維持	管理事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進	みの万年						
(1)事業	美概要   		画期間内)目標値 画に基づき、各地区公民館のPCB廃棄物の	か処分を行う。						
(2)目的	<u> </u>			 (3)目標値						
(=) =:	-			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				生涯学習施設の利用者数	千人	1,075	1,010			
(本事業によって成し	安全で快適	[な状態で公]	民館を利用して頂くことで、利用者数を増や							
遂げたい	す。									
状態)										
<b>3.前年度</b> (1)活重		<b>舌動及び費用</b>	対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及し	が事業費の指	捘			
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
				処分に要した費用	千円	0	0	794		
				処力に安した貝用	干円	U	U	794		
:千部宝结	植野地区グ	、民館、界地(	区公民館、旗川地区公民館、赤見地区							
	5年度に 公民館、葛生文化センターに保管してある低濃度PCB廃棄物の処 た主な活 分を行う。									
				事業費計	千円	0	0	794		
動内容)	·変圧器5台	き、コンデンサ2	2台	2 11.2 12.1						
				一般財源	千円	0	0	794		
				特定財源(国・県・他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円					
(2) 江王	もにトスか田				(古一)	10+H19		l .		
(3) 冶里	かによる効果 			(4) 事業効果を説明する数 効果指標	単位	70/推修 R3	R4	R5	→ 選択して 指標の性質	
				生涯学習施設の利用者数	千人	458	635			効果が上がった
効果説明	学習の場が	整備されたこ	とにより、生涯学習施設の利用者数が増加	工作了自治战》外别自负	17	130	033	743		79707 117 710
(定量及び	している。									
定性)										
(5)費用	対効果結り	果(自動判定	F)							
	とR4の一般		費用が増加した	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上が	った指標数	1指標				効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
パスペ (R5とR4の	効果は変わら 効果が下が		0指標 		費	費用は下がった				
指標値増減)	<u>ж</u> л-1-л-	指標全体	効果が上がった	li .	用	費用が増加した	0			
(1) 令和		■業実施におり ■	ける反省点、環境変化や関係者からの意見 各地区公民館のPCB廃棄物の処分を行え		対果向	]上のための	課題			
(2) 上訂	己反省点及び	/課題を踏ま/	えた、令和6年度及び令和7年度の取組	取組説明	į					
	事業効果を 事業費の見 業務時間效	上げるための し直し検討 か率化のための	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討 の事務改善の検討 大維持又は現状の計画通り)	事業終了						

事業名	各地区组	<b>〉民館等而</b>	<b>ໄ震診断事業</b>	実施計画事業or一般事業		般事業	市長公約	該当なし		該当なし
4 甘士/6	E#C			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情	部	教育部		予算中事業名		会計	<u>6</u> _	事業計画	単年原	きのみ
	<u>마</u> 課	生涯学習課		」	予算			新規or継続	新規	
	係	生涯学習係		各地区公民館等耐震診断事業	科目			市単独or国県補助	国県補	
	体系コード	421		根拠法令、条例等	1741	目		義務or任意	任意的	
			豊かな心を育み、学び合うまちづくり	ון אושנען איז ארוו	車器	開始年度				
政策体系	基本目標 政策			公共工事の品質確保の促進		終了年度		実施方法	直	
	施策		地域とともに学び育てるまちづくり 生活を豊かにする生涯学習の推進	- に関する法律	光月日	於」年及	K5	争未刀規	施設維持	官埕尹耒
(1)事業	美概要		画期間内)目標値 上重要な公民館等の耐震診断の実施。							
(2)目的	a			 (3)目標値						
(2) 👊	י			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				生涯学習施設の利用者数	千人	1,075				1,010
/士市**/-	安全で快適	が状態で公民	民館を利用して頂くことで、利用者数を増や		17	1,075	1,010	1,010	1,010	1,010
よって成し	す。		The control of the co							
遂げたい 状態)	,									
1人思)										
		舌動及び費用	対効果)説明							
(1)活動	実績			(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	事業費の指	推移		1	
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
				委託に要した費用	千円	0	0	20,001		
				Z I II C Z O I C Z I I	113			20,001		
活動実績		美務を委託した								
心助天順 (R5年度に		区コミュニティt	シター							
テった主な活	·葛生文化			事業費計	千円	0	0	20,001	ŀ	
動内容)	·常盤地区			尹未貝司	TD	U	U		Ī	
	·氷室地区	公民館		一般財源	千円	0	0	15,953		
				特定財源(国・県・他)	千円			4,048		
				(うち受益者負担)	千円			,		
				(75文金有兵担)	TD					
(3)活動	かによる効果			(4) 事業効果を説明する数	値データ	め推移			↓選択して	下さい
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
				生涯学習施設の利用者数	千人	458	635	743	値が大きいほど良い	効果が上がった
効果説明	学習の場が	整備されたこと	により、生涯学習施設の利用者数が増加							
(定量及び 定性)	している。									
足江)										
(5) 費用	引动动甲维	果(自動判定	1)							
	とR4の一般		費用が増加した	※10万円以上の増減により判断				効果		
	効果が上が		1指標	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
効果	効果は変わら	うない指標数	0指標		費	費用は下がった				
(R5とR4の 指標値増減)	効果が下が	った指標数 指標全体	0指標		用	費用の増減無し				
7.7.		拍倧王仲	効果が上がった	4		費用が増加した				
(1) 令和		■業実施にお! ■	ける反省点、環境変化や関係者からの意見 なについて耐震補強が必要なことがわかり、礼				課題			
(2)上記	ここと できまれる こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん しんしん しん	グ課題を踏まえ	た、令和6年度及び令和7年度の取組							
				取組説明						
	事業効果を 事業費の見 業務時間交	上げるための! !直し検討 か率化のための	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討 事務改善の検討 大維持又は現状の計画通り)	事業終了						

1. 基本情 旦当組織 政策体系	<b>辑</b> 部 課	教育部	注運営事業	実施計画事業or一般事業 施策横断的な取組との関連性			中長公約	該当なし		該当なし
旦当組織 以	部 課	<b>数</b> 套郊		ルピンペリスロハロリンの4人川口(ハノ大人王)工		ロス コロソノ				
旦当組織 以	部 課	数 容 郊			02 00		227.01.271	M 1/60	X 12/1	122/60
旦当組織 政策体系 -	課	<b>秋</b> 月即		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度	繰り返し
政策体系	17.	生涯学習課				款	10	新規or継続	継続	
政策体系		生涯学習係			科目	項	4	市単独or国県補助	市単独	
政策体系	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等		目		義務or任意	任意的	
	基本目標		豊かな心を育み、学び合うまちづくり	   佐野市公民館条例		開始年度		実施方法	直	
	政策 施策		地域とともに学び育てるまちづくり 生活を豊かにする生涯学習の推進	佐野市公民館運営規則	期間	終了年度	_	事業分類	審議会等	運営事業
(1)事業	美概要		画期間内)目標値 公民館24館共有の公民館運営審議会の	運営事業に伴う経費。						
(2)目的	5			 (3)目標値						
				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				運営審議会委員出席数	人	15	15	15	15	15
	公民館がよ	り一層利用し	やすくなるよう意見や提言をいただくため、							
よって成し 遂げたい	多くの運営	審議会委員に	出席いただく。							
状態)										
<b>3.前年度</b> (1)活動		<b>動及び費用</b>	対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及し	『事業費の推	餧			
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
				公民館運営審議会開催数		1		1		
	<sub>5動字績</sub> 佐野市公民館運営審議会開催		公氏既建呂留議云開惟奴	回	1	1	1			
活動実績										
			 3(金) 午前10時~							
		所:佐野市役所(1階)市民活動スペース		事業費計	千円	61	84	84		
動内容)	出席者:委	員12名 事	務局:8名	2 3 1 32 12 1			_			
				一般財源		61	84	84		
				特定財源(国·県·他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円					
(2) 江毛	h/= b z 차메			(4) 東紫热田も説明まる粉	/古一"	50+H19			1 122401 =	
(3)活動	かによる効果			(4)事業効果を説明する数 効果指標	単位	90)推移 R3	R4	R5	→ 選択して 指標の性質	
				運営審議会委員出席数	人	11	14		値が大きいほど良い	効果が下がった
効果説明	·			是自由成立文英品币数			11	12		7,321,00 1 70 270
(,,,	運営審議会	の出席者数	は年によりばらつきがある。							
定性)										
(5)費田	対効果結果	艮(自動判定	?)							
	とR4の一般!		費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断		[		効果		
	効果が上が		0指標				効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
	効果は変わら		0指標		費	費用は下がった				
指標値増減)	効果が下が	つに指標致 指標全体	<u>1指標</u> 効果が下がった		用	費用の増減無し			0	
(1) 令和		業実施におり	ける反省点、環境変化や関係者からの意見 重営に多く取り入れられるよう、多くの委員に				課題			
(2) 上記	己反省点及び	が課題を踏まえ	た、令和6年度及び令和7年度の取組	取組説明						
	事業効果を 事業費の見 業務時間效	上げるための! 直し検討   率化のための	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討 シ事務改善の検討 大維持又は現状の計画流り)	名文朴社画ルック						

作成•更新日 2024年8月9日

事業名	市民大学	学開設事業	<b>*</b>	実施計画事業or一般事業	実施計画事業		市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当あり
1. 基本情	報									
	部	教育部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度網	繰り返し
_	課	生涯学習課		市民大学開設事業	予算	款	10	新規or継続	継続	事業
	係	生涯学習係		印氏八子開設事業	科目	項	4	市単独or国県補助	市単独	事業
	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等		皿	2	義務or任意	任意的	事業
政策体系	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり	 ・佐野市民大学企画運営スタッ	事業	開始年度	S47	実施方法	直	営
以水件水	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり	フ設置要綱	期間	終了年度	-	事業分類	イベント等	開催事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進	700世安州河						

#### 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

( - ) 3 2 ( 1902

市民の各層に生涯学習の機会を提供するため、市民公募の企画運営スタッフによる企画立案を取り入れた魅力ある講座等を開催する。

(2)目的

事業概要

(3)目標値

目的 (本事業に よって成し 遂げたい 状態)

市民に学ぶ楽しさを知ってもらい、学習意欲を高め、豊かな教養を身につけてもらう。

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
延べ参加者数	人	_	120	120	160	160
受講して良かったと感じた者の割合	%	_	100	100	100	100

### 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

		活動指標	単位	R3	R4	R5
(R 5 年度に 行った主な活 動内容)	「生涯学習プログラム開発実践講座」と併催で事業を実施した。 ・立正大学デリバリーカレッジを活用し、10月14日(土)、10月21日 (土)、12月9日(土)の3回講座を実施した。	講座開催数		0	3	3
		企画運営スタッフ会議開催数		3	5	4
		事業費計	千円	0	25	36
		一般財源	千円	0	25	36
		特定財源(国·県·他)	千円			
		(うち受益者負担)	千円			

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び 定性)

延べ参加者者数はほぼ横ばいであったが、受講して良かったと感じた 者の割合が増加した。

	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
	延べ参加者数	人	-	98	104	値が大きいほど良い	効果が上がった
た	受講して良かったと感じた者の割合	%	ı	75	90	値が大きいほど良い	効果が上がった

(5)費用対効果結果(自動判定)

(0)	(a) Sometime (has the)								
費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用の増減無し							
効果が上がった指標数		2指標							
	効果は変わらない指標数	0指標							
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標							
指標值増減)	指標全体	効果が上がった							

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し	0		
用	費用が増加した			

#### 4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

より多くの方に参加してもらうため、社会情勢に即した内容が求められる。

(2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和	116年度及ひ令和/年度の取締	淮
----------------------	-----------------	---

П	事業の在り方検討	(廃止、休止、	再編成.	受益者負担の見直した	(تعن
1 1	〒★V/1上ソノノ/1次回)	()光山、小山、	. <del>111</del> 孙册 <i>儿</i> 发、	文無行見担い兄追いる	ĸС

☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

] 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

ボランティアで構成される企画運営スタッフを増やすことにより、市民ニーズをとらえた講座を企画 し、受講者数の増加を目指す。また、オンライン開催については、要望があれば対応していく。

仕事	の振り	)返りシート(令和5年度	実施分)			作	成・更新日	2024	年8月9日
事業名	中央公臣	民館市民教養講座開催事業	実施計画事業or一般事業	—;	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当あり
1. 基本情					T . = .		I		
	部	教育部	予算中事業名		会計		事業計画	単年度	
旦当組織	課	生涯学習課	中央公民館市民教養講座開	予算	款	_	新規or継続	継続	
	係	中央公民館	催事業	科目	項		市単独or国県補助	市単独	
	体系コード	421 名称	根拠法令、条例等	± 1114	目		義務or任意	任意的	
政策体系	基本目標	4 豊かな心を育み、学び合うまちづくり	社会教育法		開始年度		実施方法		営
	政策	2 地域とともに学び育てるまちづくり	佐野市公民館条例	期間	終了年度	_	事業分類	イベント等	開催事業
	施策	1 生活を豊かにする生涯学習の推進		_					
<b>2. 事業</b> 概 (1)事第		なび(基本計画期間内)目標値							
事業概要	地域住民に	生涯学習の機会を提供するため、中央公民館市民教養	<b>ま講座を開催する。</b>						
(2)目的	5		(3)目標値						
			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的	地域住民が	「直面する様々な課題を解決するための学習機会と併	講座に参加し満足した受講者の割合	%	100	100	100	100	100
(本事業に	せ、5月から	612月まで開催する。							
よって成し 遂げたい	潤いを与え、	生きがいを感じられるような知識・趣味的内容の学習機							
逐りたい 状態)	会を提供す	る。							
<i>3</i> 112.1 <i>y</i>									
<b>3.前年度</b> (1)活動		<b>舌動及び費用対効果)説明</b>	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	事業費の抽	<b>達移</b>		1	
			活動指標	単位	R3	R4	R5		
	<b>+</b> +		講座回数(ゆうゆう人生応援塾)	回	5	9	9		
		講座「ゆうゆう人生応援塾」おいて、郷土史・人権・健	講座回数(中央趣味講座)		5	13	10		
		音楽に関する講座を開催した。 悪変「カカ類は悪魔」において、オカルトラギ、ワングラッ	延参加者数(ゆうゆう人生応援塾)	人	417	469	378		
(113 1 210		講座「中央趣味講座」において、オカリナ・ヨガ・足つぼマッ	延参加者数(中央趣味講座)	人	84	171	158		
サンに主な活動内容)	リーン・ハト. た。	ル体操・スマホ・料理・園芸・合唱・折り紙教室を開催し	事業費計	千円	76	86	99		
		生応援塾企画運営スタッフ会議を開催した。	一般財源	千円	76	86	99	ĺ	
	73737	工心及主工国在ロバブブム成で加促した。	特定財源(国·県·他)	千円					
			(うち受益者負担)	千円					
(3) 活動	かによる効果		(4)事業効果を説明する数	(値デーク	の推移			↓選択して	下さい
			効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
ᄮᄪᇎᄱᄱ			講座に参加し満足した受講者の割合	%	98.4	100.0	98.3	値が大きいほど良い	効果が下がった
効果説明	講座に参加	1し満足した受講者の割合は、年度によってばらつきはあ							
(定量及び	るものの全体	本的に高くなっている。							

効果説明
(定量及び
定性)

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
講座に参加し満足した受講者の割合	%	98.4	100.0	98.3	値が大きいほど良い	効果が下がった

#### (5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用の増減無し
効果	効果が上がった指標数	0指標
	効果は変わらない指標数	0指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	1指標
指標値増減)	指標全体	効果が下がった

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し			0
用	費用が増加した			

#### 4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

市民が参加したいと思えるような講座内容を検討・企画し、多くの方に参加していただけるような講座を開催する必要がある。

(つ) ⊢=□	一歩よなが	理題を踏ますた	- ATI 6	午 市 乃 バ へ	和った由	小田田名日

□ 事業の在り方検討	(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)
------------	-------------------------

☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し (現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

参加者に対するアンケート結果の分析や時代のニーズをとらえることにより、より多くの方が参加 し、満足度の高い講座を企画する。また、オンライン開催については、要望があれば対応してい

事業名	佐野各地区公民館市民教養講座開催事業			実施計画事業or一般事業	<b>一</b> 舟	ひ事業 かいりゅうしん	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当あり	スマートシティ	該当あり
1. 基本情	L. 基本情報									
	部	教育部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度網	繰り返し
担当組織	課	生涯学習課			予算	款	10	新規or継続	継続	事業
	係	生涯学習係		佐野各地区公民館市民教養講座開催事業	科目	項	4	市単独or国県補助	市単独	事業
	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等		Ш	2	義務or任意	任意的	事業
政策体系	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり	   社会教育法	事業	開始年度	H17	実施方法	直	営
IXW PT/N	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり	佐野市公民館条例 -	期間   終	終了年度	ı	事業分類	イベント等	開催事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進	在野市五瓜品来的						
	2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値									

事業概要

地域住民が直面する様々な課題を解決するための学習機会と併せ、余暇を利用して楽しみながら学習することにより、毎日の生活に潤いを与え、生きがいを感じられ るような知識・趣味的内容の学習機会を提供することを目的とする市民教養講座の開催。

(3)目標値

(2)目的

目的 (本事業に

よって成し

遂げたい 状態)

	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
	講座に参加し満足した受講者の割合	%	100	100	100	100	100
講座に参加し、その内容に満足することで、市民の自己学習能力向							
上につなげる。							

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

		活動指標	単位	R3	R4	R5
		講座開催回数	回	67	118	126
	佐野各地区公民館(植野、界、犬伏、城北、旗川、吾妻、赤 見)における市民教養講座の開催。					
		事業費計	千円	257	350	386
		一般財源	千円	257	350	386
		特定財源(国·県·他)	千円			
		(うち受益者負担)	千円			

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明
(定量及び
定性)

講座に参加し満足した受講者の割合は、年度によってばらつきはあ るものの全体的に高くなっている。

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
講座に参加し満足した受講者の割合	%	96	95	97	値が大きいほど良い	効果が上がった

(5)費用対効果結果(自動判定)

( ) / (					
費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用の増減無し			
効果	効果が上がった指標数	1指標			
	効果は変わらない指標数	0指標			
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標			
指標値増減)	指標全体	効果が上がった			

※10万円以上の増減により判断

		効果				
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった		
費	費用は下がった					
	費用の増減無し	0				
用	費用が増加した					

#### 4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

市民が参加したいと思えるような講座内容を検討・企画し、多くの方に参加していただけるような講座を開催する必要がある。

	(2)	上記反省点及び課題を踏まえた、	令和6年度及び令和7	'年度の取組
--	-----	-----------------	------------	--------

□ 事業の在り万検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなと	
-----------------------------------	--

☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討

事業費の見直し検討

業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

参加者に対するアンケート結果の分析や時代のニーズをとらえることにより、より多くの方が参加 し、満足度の高い講座を企画する。また、オンライン開催については、要望があれば対応してい

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

事業名	栃木県公	\民館連絡	<b>路協議会参画事業</b>	実施計画事業or一般事業		般事業	市長公約	該当なし		該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
L. 基本情	<b>新</b> 部	教育部		予算中事業名		会計		事業計画	単年度	組り行し
□当組織	課	生涯学習課		栃木県公民館連絡協議会参	予算			新規or継続	継続	
	係	生涯学習係		画事業	科目		4	市単独or国県補助		<u>于不</u> 虫事業
	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的	
r <i>トた</i> た (上 デ	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり		事業	開始年度	H17	実施方法	直	 営
政策体系	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり	佐野市公民館条例	期間	終了年度	_	事業分類	参画	事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進							
<b>2. 事業</b> 概 (1)事第		なび(基本計	画期間内)目標値							
<b>事業概要</b>			会に会員自治体として負担金を支出してい 成・調査研究を実施している。	る。協議会は各部会(館長・主	事)活動	動を実施し、	加盟する場	具内市町村	の公民館関	係者とで
(2)目的	ā			(3)目標値						
(2) 🔐				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的	1C 1 IB // E	コ &力>ナック   カ = **	· ^ (===================================	公民館等の利用者数	千人	250	250	250	250	250
(本事業に			会に加盟し、各部会、部会内研修会等に の他市町公民館運営方法、講座内容等							
よって成し 遂げたい			の他中町公民館建営万法、講座内合寺 本市での公民館活動に活かす。							
状態)	WIH HIN CINT	accica y. A								
<b>3. 前年度</b> (1)活動		<b>舌動及び費用</b>	対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	事業費の推	辪			
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
				総会開催回数	1	1	1	1		
				主事部会(調査・研究)による情報提供		1	1	1		
活動実績	(佐昭吉の)	千動 \抗 議 今/	の負担金の支出、総会、役員会、館長部	土争の云(両旦・川九)による旧秋延氏	凹	1	1	1		
R5年度に	•	ロ野)励職云(  会への参加。	が負担金の文山、秘云、仅負云、路技の							
うた主な活			设員会、各部会、研修会の開催。	事業費計	千円	129	129	129		
動内容)	(IIIIIIIII)	H2374024 ( 12		一般財源	千円	129	129	129		
				特定財源(国·県·他)	千円					
				, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,						
				(うち受益者負担)	千円					
(3)活重	かによる効果			(4) 事業効果を説明する数	値データ	の推移			↓選択して	下さい
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
** EEE EM OO				公民館等の利用者数	千人	125	160	179	値が大きいほど良い	効果が上がった
効果説明 (定量及び			見教委、県内他市町公民館と情報共有が							
定性)	行われ、公	民館活動が活	5発化し、利用者数が増加した。							
		果(自動判定	- 	1						Ī
費用(R5	とR4の一般		費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断			******	効果 効果は変わらない	*******	
効果	効果が上が効果は変わる		1指標 0指標	-	費	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
(R5とR4の と無値機能)	効果が下が	った指標数	0指標		用	費用の増減無し	0			
旨標値増減)		指標全体	効果が上がった	]	Л	費用が増加した				
	<b>をに向けた検</b> 35年度の事		ナる反省点、環境変化や関係者からの意見	等を踏まえた検討課題、費用対	対果向	]上のための]	課題			
協議会での	主事部会や	研修会を通じ	て、県内各地区公民館の取り組み等を情	報共有し、より活発な公民館活	動へとつ	なげる。				
/a> :=		%=m ==	-L 040 c Fr - 20 47 - 1- 1- 1-							
(2) 上訂	は反省点及び	)課題を踏まえ	えた、令和6年度及び令和7年度の取組	₽⋼⋄□≘∺□□	1					
	事業のたり	方烯計 /處止	女小 五短式 英米老鱼和APP表 450	取組説明						
			、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討							
	事業数条で		HUNDA CAIXET							
			)事務改善の検討							

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

<b>を持</b> り	四沙市市	h人已给i	- 足物美港応即伐事業	字拨到面声光。	Ι,		ナミハタウ	=ナルナバ	₩ <b>△</b> ₩₽₩	≣# \// +\/
事業名	田沿甲为	代公氏照り	<b>5民教養講座開催事業</b>	実施計画事業or一般事業		般事業 該当あり	中長公約コンパクトシティ	該当なし		該当なり
L.基本情	<b></b>			施策横断的な取組との関連性	SDGS	は当めり	コンハクトシティ	談当ない	スマートシティ	談当めり
	部	教育部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度	繰り返し
	課	生涯学習課		田沼中央公民館市民教養講	予算	款		新規or継続		事業
	係	田沼中央公	民館	座開催事業	科目	項	4	市単独or国県補助	市単独	虫事業
	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等		目		義務or任意	任意的	勺事業
攺策体系	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり	   社会教育法		開始年度		実施方法		営
	政策		地域とともに学び育てるまちづくり	佐野市公民館条例	期間	終了年度	_	事業分類	イベント等	開催事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進		]					
<b>2. 事業</b> 概 (1)事第		とび(基本計	画期間内)目標値							
事業概要	地域住民に	生涯学習の	機会を提供するため、田沼中央公民館市日	教養講座を開催する。						
(2)目的	5			(3)目標値						
(= / ==				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				講座に参加し満足した受講者の割合	%	100	100	100	100	100
(本事業に	古足が高い	/学ぶ	び市民が抱える課題課題解決のための学	PRIZE OF SHOULD PROVIDE OF CAMP IN THE SHOP	70	100	100	100	100	100
よって成し		ヽチゕ゙゙゙゙゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゚゙゙゙゙゙゚゙゙゙ヾヹ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙	いり氏が包える味趣味趣解次のための子							
遂げたい	HIMADI JI	3×0 CV-0°								
状態)										
3. 前年度	まの実績(流	舌動及び費用	<b>日対効果)説明</b>							
(1)活動 (1)活動				(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	事業費の指	捘移			
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
				講座回数		15	17	19		
活動実績 R5年度に	・ふるさと創	生セミナーにお	いて、人権・防犯・健康・芸能・音楽に関	延講座参加者数	人	546	836	760		
	する講座を									
			ラフト・健康体操・観葉植物育成・足つぼ・							
		くマホケース作	り・スマホ体験・折り紙・しめ縄作りを開催し	事業費計	千円	71	73	53		
到(1)台)	た。			一般財源		71	73			
				特定財源(国・県・他)	千円	, ,	, 5	33		
				(うち受益者負担)	千円					
						14.75				
(3) 活動	かによる効果			(4)事業効果を説明する数			D.4	5.5	↓選択して	
				効果指標	単位 %	R3 97.8	R4 98.3	R5	指標の性質 値が大きいほど良い	R4とR5の比較 効果が上がった
効果説明	講成に参加	11.満足した質	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	講座に参加し満足した受講者の割合	70	97.0	90.3	99.2	III// AEVISCIQUI	刈未ルエル・ル
(定量及び		本的に高くなっ								
定性)	ののジジエド	1-								
(5)費用	コナナナホカロコメナビ	果(自動判定	=)							
	とR4の一般		費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果		]
	効果が上が		1指標	X I O / S I S X II S II I M CO V I S III I			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
効果 (R5とR4の		ない指標数	0指標		費	費用は下がった				
旨標值増減)	効果が下が	りに担信数 指標全体	<u>0指標</u> <b>効果が上がった</b>		用	費用の増減無し	0			
				•		•				1
	<b>をに向けた検</b> 15年度の事		ける反省点、環境変化や関係者からの意見	等を踏まえた検討課題、費用対	対果向	]上のための	課題			
ち民が参加	したいと思え	るような講座	内容を検討・企画し、多くの方に参加してい	ただけるような講座を開催する必	要がある	3.				
(2) 上訓	己反省点及び	)課題を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組	₽⋴⋄⋴⋾⋉⋴⋴	1					
	事業の在り	方格計 (廃止	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)	取組説明						
			、	  参加者に対するアンケート結果	の分析も	>時代の=-	-ズをとらえる	ることにより.	より多くのだ	が参加
	事業費の見			し、満足度の高い講座を企画す						
			の事務改善の検討	(。	_ 5 5.70					

### 仕事の振り返りシート (会和5年度宝施公)

<b>『業名</b>	葛生文化	ムセンター糸	推持管理事業		実施計画事業or一般事業		般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
-11-1					施策横断的な取組との関連性			コンパクトシティ	該当なし		該当なし
. 基本情	青報			l							
		教育部			予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度	繰り返し
当組織		生涯学習課			葛生文化センター維持管理事	予算			新規or継続	継続	事業
	係 葛生地区公民館			 業 科E		項	4	市単独or国県補助	市単独	虫事業	
	体系コード	421	名和	尔	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的	り事業
-L&& 11 =	基本目標	4	豊かな心を育み、学び	合うまちづくり		事業	開始年度	S54	実施方法	一部	委託
<b>牧策体系</b>	政策		地域とともに学び育てる				終了年度	_	事業分類	施設維持	
	施策		生活を豊かにする生涯				112 1121				
<b>2. 事業</b> 概 (1)事業		び(基本計	画期間内)目標値								
写 <b>業概要</b>	葛生文化セ	ンターの維持	管理。								
(2)目的	勺				(3)目標値						
					効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的					葛生地区公民館利用者数	人	3,000	4,000	5,000	5,000	5,000
(本事業に	葛生文化セ	ンターの利用	者が安全で快適に施設	とを利用できるよう	葛生化石館利用者数	人	23,400	23,600	23,800	24,000	24,200
よって成し 遂げたい	に、施設の終	<b>掛管理を行</b>	う。								
状態)											
<b>3.前年</b> 原 (1)活動		<b>動及び費用</b>	対効果)説明		(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	事業費の推	<b>達移</b>		1	
					活動指標	単位	R3	R4	R5		
					電気工作物保守点検	回	13	13	13		
					消防用設備保守点検	回	2	2	2		
舌動実績 R5年度に					展示室燻蒸処理	回	1	1	1		
うった主な活	葛生文化セ	ンターの維持	管理。		事業費計	千円	8,127	8,501	8,291		
動内容)				1	一般財源	千円	8,113	8,487	8,290		
					特定財源(国·県·他)	千円	14	14	1		
					(うち受益者負担)	千円					
(3) 注重	・ めによる効果				・ (4)事業効果を説明する数	が ボーク	かが接	•		↓選択して	下さい
(3) /□=	WC CONT				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
					葛生地区公民館利用者数	人	3,159	4,954		値が大きいほど良い	効果が上がった
効果説明	夏生文化セ	ンターを適切し	に維持できていることに。	より. 利用者数が増	葛生化石館利用者数	人	11,787	16,606		値が大きいほど良い	効果が下がった
(定量及び	加している。		ichard CC CV BCCico	K)( 13/13 L3X/3 · L	3210 HAI 13/13 HA	, ,	11//0/	10,000	10/.01		
定性)	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,										
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	2(自動判定									
(5) 費用				こがった.	※10万円以上の増減により判断		ļ		効果		
	効甲が上がった均標物   1均標		1指	標				効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
費用(R5		効果は変わらない指標数 0指標				費用は下がった					
費用(R5 効果	効果は変わら	ない指標数	0指	標		費			0		
費用(R5		ない指標数	1指	標		月用	費用の増減無し				

施設が老朽化しており、施設の適切な修繕による維持、改修等の検討が必要。

(2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和	116年度及ひ令和/年度の取締	淮
----------------------	-----------------	---

☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

利用者が安全、安心、安全に公民館を利用できるように、施設、備品の適切な修繕などを行っ ていく。また、耐震性能を満たしていないので、耐震補強工事等を行う。

1 生活を豊かにする生涯学習の推進

作成·更新日 令和6年8月9日

事業名	葛生地区	区公民館市	5民教養講座開催事業	実施計画事業or一般事業	<b>一</b> 舟	投事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当あり
1. 基本情	<b>手</b> 報									
	部	教育部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度	繰り返し
旦当組織	課	生涯学習課		葛生地区公民館市民教養講	予算	款	10	新規or継続	継続	事業
	係	葛生地区公	民館	座開催事業	科目	項	4	市単独or国県補助	市単独	事業
	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等		田	2	義務or任意	任意的	事業
政策体系	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり	社会教育法		開始年度	H17	実施方法	直	営
LXXX PTVI	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり	佐野市公民館条例		終了年度	1	事業分類	イベント等	開催事業
	166		# VE + # 1. (			•			•	

#### 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

葛生・常盤・氷室地区公民館における市民教養講座開事業。

(2)目的

目的 (本事業に

よって成し

遂げたい 状態)

事業概要

1-3

市民の抱える様々な問題解決のための学習機会と余暇を利用して 楽しみ学習できる機会を提供する。

(3)目標値						
効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
葛生地区公民館開催回数	人	13	15	15	15	15
常盤地区公民館開催回数	人	11	15	15	15	15
氷室地区公民館開催回数	Y	4	10	10	10	10

#### 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

	2200	, ,				
		活動指標	単位	R3	R4	R5
		葛生地区公民館講座参加者数	人	209	381	342
V-71-6+		常盤地区公民館講座参加者数	人	144	169	218
活動実績 (R5年度に	<b>夕八口岭,土口九州东广关机老九草作。 纳美珠亦九明</b> 似 九	氷室地区公民館講座参加者数	人	84	227	269
行った主な活動内容)	各公民館、市民を対象に参加者を募集し、教養講座を開催した。	事業費計	千円	149	206	169
到(2)		一般財源	千円	149	206	169
		特定財源(国·県·他)	千円			
		(うち受益者負担)	千円			

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明
(定量及び
定性)

全体として、講座の開催回数は昨年より減少したが、参加人数は増えている。

	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
	葛生地区公民館開催回数	人	13	18	16	値が大きいほど良い	効果が下がった
曾	常盤地区公民館開催回数	人	11	16	16	値が大きいほど良い	効果は変わらない
	氷室地区公民館開催回数	人	4	15	12	値が大きいほど良い	効果が下がった

(5)費用対効果結果(自動判定)

( - , , , , , ,	( ) 3/3/14/14/14 ( ) 3/3/13/2/						
費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用の増減無し					
効果	効果が上がった指標数	0指標					
	効果は変わらない指標数	1指標					
(R5とR4の	効果が下がった指標数	2指標					
指標値増減)	指標全体	効果が下がった					

※10万円以上の増減により判断

		効果						
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった				
費	費用は下がった							
	費用の増減無し			0				
用	費用が増加した							

#### 4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

市民が参加したいと思えるような講座内容を検討・企画し、多くの方に参加していただけるような講座を開催する必要がある。

(2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

] 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

参加者に対するアンケート結果の分析や時代のニーズをとらえることにより、より多くの方が参加 し、満足度の高い講座を企画する。また、オンライン開催については、要望があれば対応していく。

事業名	生涯学習推進計画策定事業		実施計画事業or一般事業	実施計画事業		古巨八約	該当なし	<b>公公</b> 出版	該当なし	
尹禾石	工涯于日		四界足争来			1	コンパクトシティ			該当なし
L.基本情	<b>- 幸</b> 尼				SDGS	一談当めり	コンハクトシティ	談当なし	スマートシティ	談当なし
1. 坐本川	部	教育部		予算中事業名		会計	—船	事業計画	単年度	 繰り返し
日当組織	課	生涯学習課		7升1子米口	予算	款		新規or継続	継続	
	係	生涯学習係		_	科目	項	4	市単独or国県補助	市単独	
	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的	
-1 *** 11 -	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり		事業	開始年度	H29	実施方法	直	
政策体系	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり	_		終了年度		事業分類	計画策定・	·管理事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進				I			
(1)事第	美概要		画期間内)目標値 四期間内)目標値 四期間内)目標値 四期間内 四期間内 四期間内 四期間内 四期間内 四期間内 回期間 回期間内 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回		1年度	までの 4 か年	Eを計画期	間とした第 2		生涯学習
事業概要	推進後期基	基本計画を策	定する。							
(2)目的	5			(3)目標値						
				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				日頃から生涯学習活動に取り組んでいる市民の割合	%	30	31	32	33	34
(本事業に よって成し	市民一人で	とりの参画と	<b>茘働による「市民参加による自立したまちづ</b>							
遂げたい	くり」の実現	を図る。							<u> </u>	
状態)										
<b>3.前年</b> 原 (1)活動		舌動及び費用	対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ		事業者の対	#轻			
(1) /11	37719			活動指標	単位	R3	R4	R5		
				/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	半位	KS	K4	KS		
活動実績										
(R 5 年度に テった主な活 動内容)	_								1	
				事業費計	千円	90	0	0		
±// 1C/				一般財源	千円	90				
				特定財源(国·県·他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円				l	
(3)活動	かによる効果			(4) 事業効果を説明する数	値デーク	の推移			↓選択して	下さい
(0) /112	31201077771			効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	
				日頃から生涯学習活動に取り組んでいる市民の割合	%	35	34			効果が下がった
効果説明	日頃から生	涯学習活動(	こ取り組んでいる市民の割合はほぼ横ばい							
(定量及び 定性)	である。									
足江)										
(5) 費用		果(自動判定	=)							
	とR4の一般		_/	※10万円以上の増減により判断				効果		I
	効果が上が		0指標				効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
効果	効果は変わら	るない指標数	0指標		費	費用は下がった				
(R5とR4の 指標値増減)	効果が下が	うた指標数 指標全体	<u>1指標</u> <b>効果が下がった</b>		用	費用の増減無し				ļ
		討	がある。	等を踏まえた検討課題、費用対	対 果向		課題			
		V=用目示 ≠ □v → ·	54. A和人厅在卫衫A和马厅在内下边							
			えた、令和6年度及び令和7年度の取組	取組説明						
	事業効果を 事業費の見 業務時間效	上げるための !直し検討 か率化のための	:、休止、再編成、受益者負担の見直Uなど) 事務改善の検討 D事務改善の検討 犬維持又は現状の計画通り)							

作成·更新日 2024年12月9日

事業名	社会教育	<b>育委員設置</b>	事業	実施計画事業or一般事業	一般事業		市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情	輯									
	部	教育部 生涯学習課 社会教育係		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度網	繰り返し
担当組織	課			→ 社会教育委育設置事業		款	10	新規or継続	継続	事業
	係					項	4	市単独or国県補助	市単独	事業
	体系コード	421	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意的	的事業
政策体系	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり	社会教育法(第15条、第	事業	開始年度	S24	実施方法	直'	営
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり	17条、第18条)	期間	終了年度		事業分類	審議会等	運営事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進	佐野市社会教育委員条例			•			

#### 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

#### (1)事業概要

事業概要

社会教育行政に係る諮問機関として、学校教育及び社会教育、家庭教育関係者並びに学識経験のある者の中から社会教育委員を設置する。社会教育委員は 教育長を経て教育委員会に助言し、社会教育活動の拡充・振興を図る。

(2)目的 (3)目標値

目的		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
(本事業	社会教育行政に関し、教育委員会に助言し、社会教育活動の拡	社会教育委員数	人	18	18	18	18	18
(C	充・振興を図る。	社会教育委員会議出席率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
よって成し	社会教育に関する適切な諸計画を立案してもらえるよう、必要な調							
遂げたい	査研究のための機会(研修等)を提供する。							
状態)				_				

#### 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

#### (2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

		活動指標	単位	R3	R4	R5
	・社会教育委員会議の開催(7月6日、1月31日)	社会教育委員会議開催数	口	2	2	2
活動実績		社会教育委員研修出席者数	人	3	4	8
	日、7月19日、10月19日)					
度に行った主な活動	·第54回関東甲信越静社会教育大会 栃木大会(11月21日 ~22日)	事業費計	千円	179	202	210
内容)	※R5年度は関東甲信越静社会教育大会が栃木で開催されたた	一般財源	千円	179	202	210
	め、社会教育委員研修の開催はなし。	特定財源(国·県·他)	千円			
		(うち受益者負担)	千円			

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 社会教育に関する適切な諸計画を立案してもらえるよう、必要な調 (定量及 査研究のために機会(研修等)を提供する。社会教育行政に関し び て教育委員会に助言する等し、社会教育活動の拡充・振興を図 定性)

	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
劼	社会教育委員数	人	18	18	18	値が大きいほど良い	効果は変わらない
U	社会教育委員会議出席率	%	88.8	75.0	80.0	値が大きいほど良い	効果が上がった

#### (5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用の増減無し
効果	効果が上がった指標数	1指標
	効果は変わらない指標数	1指標
	効果が下がった指標数	0指標
の	指標全体	効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

		効果						
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった				
費	費用は下がった							
	費用の増減無し	0						
用	費用が増加した							

#### 4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和5年度は栃木県で関東甲信越静社会教育大会が開催され、社会教育委員研修を兼ねていたため参加者が多くなった。令和6年度は通常開催予定であるため、より多くの 委員に出席してもらえるよう周知を図り、参加を促す。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

	事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなの	
<b>V</b>	事業効果を上げるための事務改善の検討	١.
П	事業費の見直し検討	1

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

社会教育委員に対し、より積極的な研修等への参加を呼びかけ、社会教育活動の振興・拡充 を図る。